取扱説明書

DAYTONA CORP.

R75012①/22

*取り付ける前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
フィンガーフォロアー DOHC ヘッド１２４.8ｃｃ	モンキー/ゴリラ （12V 用）	75012

この度はデイトナ「フィンガーフォロアーDOHCヘッド 124.8ｃｃ」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取付前に必ず商品の内容をお確かめください。
万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。

■ご使用前に必ずご確認ください■

本書では正しい取付、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。
取扱説明書内の指示や注意事項を守らずに使用した事による事故や損害については、当社は一切の責任を負いません。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止
- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施
- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。

その他
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

実施
- この商品の取り付けにはエンジン脱着と分解組み立てが必要になります。別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。

2014/05/27

- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行ってください。

禁止

- 空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高い負荷がかかりますので避けてください。エンジンの耐久性に悪影響をおよぼすだけでなく、クランクシャフトの破損につながる恐れがあります。

法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。
- **当商品を装着することにより、排気量が変更となるため、原付２種扱いとなります。したがって、一般公道走行の場合は次の条件を満たす必要があります。下記条件を満たさないで一般公道を走行した場合は、該当する法令に抵触しますので、必ず手続き及び、免許の取得を行ってから走行をしてください。**

①運転免許の資格が普通自動二輪(小型二輪)以上であること。

②市町村区の役所において、車両登録標識(ナンバープレート)を該当する排気量の物に変更する事。

③任意及び自賠責保険の条件が該当排気量に合致している事。

実施

- **使用するガソリンは必ずハイオクガソリンをご使用ください。高圧縮エンジンのためレギュラーガソリンは使用できません。**
- この商品を装着した際は**必ず当社レーシングアウターローターキットまたはミドルウエイトアウターローターキットを装着してください。**重いＡＣＧローターを取り付けて急加減速を繰り返すとクランクに負担がかかり、クランク破損につながるおそれがあります。
- **クランクケースは市販の強化品等の使用をお奨めします。モンキー純正のクランクケースはクラックが入りやすいため、お奨めできません。**
- **必ず指定プラグを使用してください。**

メーカー	品名
NGK	ER8EH

- **推奨エンジンオイル（粘度は使用する地域の外気温に適した粘度のオイルを使用すること。）を使用してください。**

【推奨オイル】

メーカー	品名	粘度
MOTOREX	POWER SYNT 4T	SAE10W／50、5W／40
↑	CROSS POWER 4T	↑

※ＪＡＳＯ MA ＡＰＩ分類 SG以上の、１００%化学合成モーターサイクル用エンジンオイルを使用すること。

- この商品の装着に当たっては必ず、オイルクーラーと油温計を装着し、油温の管理をしてください。高温（100 度以上）での連続走行を行うとエンジンが破損する可能性があります。
- **オイルは走行 500ｋｍを目処に、まめに交換をおこなってください。**

その他

- **この商品を装着した事に依る二次的トラブル（クランクケースの破損、焼きつき、ミッションギアーの破損等）は一切保証の対象外とさせて頂きます。又商品に関しても、当社製造上等の不良が認められない限り、保証の対象外とさせて頂きますので予めご了承ください。**
- この商品の装着にあたってはジェットセッティングや点火時期のセッティングの必要があります。
- **この商品を装着後、3000ｋｍ走行時点で必ずエンジンオーバーホールを行い、部品の消耗具合を確認してください。その後も 3000ｋｍ毎に定期的にエンジンオーバーホールを行ってください。（耐久レース等での使用は極端に消耗しますので１レースごとにエンジンオーバーホールを行ってください。）**

- この商品の使用にあたって、**最高回転数は 13,000ｒｐm以内でご使用ください**。
- オイルポンプおよびその下部にあるストレーナ（金網）のチェックとメンテナンスは定期的に行ってください。ストレーナーが詰まるとオイル循環が悪くなり、シリンダーヘッド周辺の焼き付きを発生する恐れがあります。
- この商品を取り付けるとノーマルと比較して、著しく振動が増加します。振動により、部品の脱落やネジ類の緩み等が発生する場合がありますが、振動により発生したトラブルは一切保証の対象外となります。予めご了承ください。
- この商品は高圧縮比のレーシングスペックのエンジンです。軽微なオイル滲等が発生する場合があります。予めご了承ください。（ブローバイを抜くことで改善する場合があります。）
- この商品を装着した際は必ず 2 次側クラッチ（5 枚ディスク以上）を装着してください。1 次側クラッチなどでは容量が不足してクラッチの滑りを発生し、クラッチが破損する恐れがあります。
- 作業の際、ケースカバー内に異物が混入しないよう十分に注意して作業してください。
- 取り付け後約１００km 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には装着を行わないでください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。

その他

- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。
- この商品の取り付けにあたっては、設備の整ったオートバイ店もしくは認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に作業を行って頂く必要があります。専門外の方が作業を行うと、けがや火傷等の恐れがあり大変危険です。従って、この商品の取り付けは専門のオートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼し、装着を行ってください。
- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- 性能向上のため、関連パーツで必要となる商品がございます。本説明書では関連パーツの商品に関しては、取り付け手順を省略しております。予めご了承ください。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。
- セッティングミスや組み間違い、説明書の注意事項を守らなかった事、消耗部品の交換を怠った事に起因する焼きつきやデトネーション、その他のトラブルは一切保証の対象外となります。予めご了承ください。
- 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品を取り付けるとオートバイの性能が変化します。特に交換直後など慣れるまでは十分に注意して操作し、オートバイの感覚を確かめてください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき確実な作業を行ってください。

また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼してください。

同時装着部品

	品番	品名	本体価格（税抜）	備考
クランクケース	市販品	ガレージネバーランド製、タケガワ製等の強化クランクケース	-	タケガワ製強化クランクケースは加工が必要です。（ケースボーリング深さ 27mmに要追加工）
オイルポンプ	74670	メガオイルポンプ	¥3,800	ケースオリフィス加工が必要
2 次側クラッチ	75838	2 次側湿式クラッチキット５ディスク/ショットバレル	¥57,000	
	74443	2次側湿式クラッチキット5ディスク/ショットブラスト	¥57,000	
	75321	ハイドロリック5枚クラッチキット	¥82,000	
オイルクーラー	78172	ステム用オイルクーラーキット７段	¥28,500	
油温計	47101	コンパクトテンプメーター	¥6,500	
	46162	デジタルテンプメーター	¥8,500	
	43350	テンプメーターフィッティング 8φ	¥3,300	
アウターローター	73421	レーシングアウターローターキット	¥19,500	
	73246	ミドルウエイトアウターローターキット	¥22,500	
マニホールド	77847	PE28/PWK28 用左出しマニホールドセット	¥9,000	PE28/PWK28 専用
	75067	左出しマニホールド単品	¥7,000	VM26、PE26 の装着時に必要
	79126	FCR33 用マニホールド＆フィッティングキット/右出し	¥17,800	FCR33 専用
	78337	ＦＣＲ用右出しマニホールド	¥12,500	FCR28 の装着時必要

キャブレター適合表

※取り付けの可否のみを記載した表です。

キャブレター	可/不可	備考
FCR33	◎	ＦＣＲ３３用マニホールド＆フィッティングキット（品番 79126）を使用し、右出しで装着します。他に必要部品があります。別途品番 79126 の説明書を参照してください。
FCR28	○	FCR 用右出しマニホールド（品番 78337）と FCR28 キャブ（ケイヒン品番 1000-S34-A0）、マウントアダプター（ヨシムラ FCR28MJN 用補修品）、ラバー（品番 28938）を使用してください。
PE28	◎	マニホールドセット（品番 77847）を使用し、左出しで装着します。
PWK28	○	
VM26	○	左出しマニホールド単品（品番 75067）とキタコ社製ラバーマニホールドを使用して左出しで装着します。
PE24/PE20/CR-MINI	○	左出しマニホールド単品（品番 75067）とラバー（品番 28939）を使用し、左出しで装着します。
PC20	×	取り付け形状が異なる為、取付けできません。
ＹＤ２４／２８	×	エンジン側の取付けピッチが異なるため、取付できません。

事前準備

このボアアップキットを取り付ける際には、クランクケースボーリング（**56.6～56.8mm、深さ 27.0mm**）を事前に行い、同時装着必要部品の交換などの準備をしてからクランクケース（腰下）の組み付けを行ってください。
このキットのシリンダーはシリンダースカート部が 26mm あります。純正および純正に準じた長さのシリンダーはスカート部が 20mm となっております。そのため、特にボーリング加工済みのクランクケースにこのキットを組み込む際は、ボーリング加工深さが不足している場合がありますに注意してください。尚、当社ではクランクケースボーリングは行っておりませんので、下記の加工業者へ直接ご依頼ください。

【クランクケース加工業者】

■会社 **株式会社　大和工業　■所在地** **〒421-0506　静岡県牧之原市大寄 552-3**
■連絡先 **TEL:0548-54-1324　FAX:0548-54-1514**
■ホームページ http://www.yamato-kougyou.com/index.html

フロント周りの適合表

※ この商品は純正のエンジンよりもシリンダーが 6mm 長く、またヘッドも大きいため、装着できるフロントフォーク、ステム、ホイール、タイヤサイズの組み合わせに条件があります。詳細は下記の表を参考にしてください。

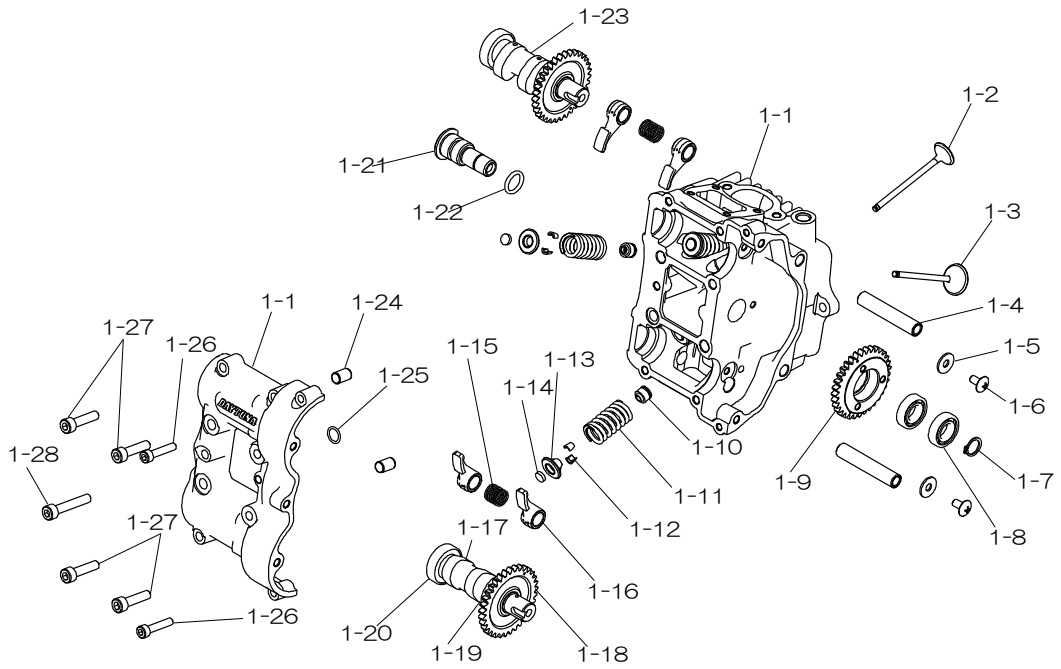
フォーク	ステム&トップブリッジ	ホイール	タイヤサイズ	可否	備考
ノーマルフォーク		ホイールサイズ、タイヤサイズに関わらず、ヘッドとタイヤが接触するため取り付けできません。			
インナーフォーク ローダウン /STD /10 インチ用					
ＮＳＲフォーク(～'94) ※2	●ＮＳＲ50 純正～94 ステム&95 トップブリッジ ※フロントフォーク突き出し0㎜	8インチ	3.5-8	○	
			110/80-8	○	
			120/70-8	○	
		１０インチ	3.5-10(BT39)	△	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 438mm）
			90/90-10(S1)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 404mm）
			100/80-10(S1)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 408mm）
			100/90-10(S1)	△	
			110/80-10(S1)	△	ホイール 2.75 インチ（タイヤ外周 419mm）
		１２インチ	100/65-12(FMR)	△	ホイール 2.75 インチ（タイヤ外周 439mm）
ＮＳＲフォーク('95～)		8インチ	3.5-8	○	
			110/80-8	○	
			120/70-8	○	
		１０インチ	3.5-10(BT39)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 438mm）
			90/90-10(S1)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 404mm）
			100/80-10(S1)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 408mm）
			100/90-10(S1)	○	
			110/80-10(S1)	○	ホイール 2.75 インチ（タイヤ外周 419mm）
		１２インチ	100/65-12(FMR)	○	ホイール 2.75 インチ（タイヤ外周 439mm）
Φ３１フォーク ※1 ※2	●φ31 フロントフォークキット付属ステム&トップブリッジ ※バージョン 1、2 共通 ※フロントフォーク突き出し0㎜	8インチ	3.5-8	○	
			110/80-8	○	
			120/70-8	○	
		１０インチ	3.5-10(BT39)	△	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 438mm）
			90/90-10(S1)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 404mm）
			100/80-10(S1)	○	ホイール 2.5 インチ（タイヤ外周 408mm）
			100/90-10(SX)	△	
			110/80-10(S1)	○	ホイール 2.75 インチ（タイヤ外周 419mm）
			130/70-10(S1)	△	ホイール 3.5 インチ（タイヤ外周 428mm）
		１２インチ	100/65-12(FMR)	△	ホイール 2.75 インチ（タイヤ外周 439mm）

※1：Φ３１フォーク使用時、フロントフェンダーの後端リブ部分のカットが必要。アンダーブラケットに取り付けても、フェンダーオフセットステーで取り付けてもヘッドと接触します。
※2：△はクリアランスがほとんど無いためフレームの寸法誤差やフロントフォークの寸法誤差により、シリンダーヘッドとタイヤが接触する場合があります。

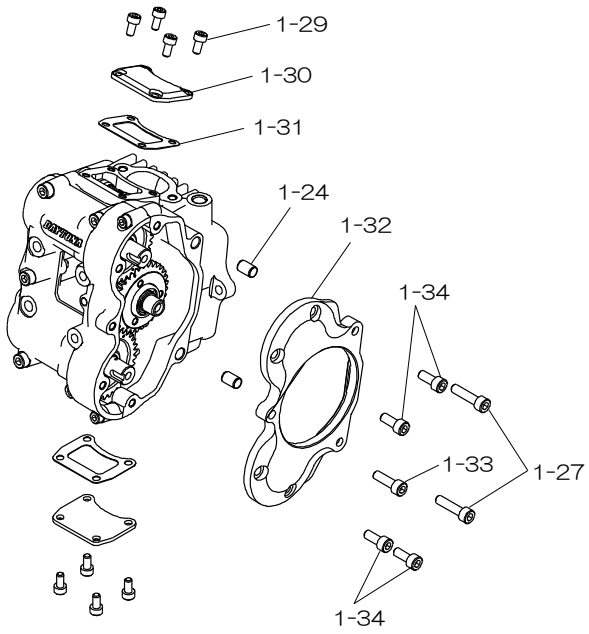
□ 商品内容 □

NO	パーツ名		数量	NO	パーツ名		数量
1	シリンダーヘッド ASSY.					組込済み	1
1-1	シリンダーヘッド&カバーセット		1	1-18	カムギヤ	33T	2
1-2	インテークバルブ	φ21.5/φ4.0	2	1-19	ベアリング	(6902)	2
1-3	エキゾーストバルブ	φ18/φ4.0	2	1-20	ベアリング	(6902Z)	2
1-4	ロッカーアームシャフト	φ10	2	1-21	カムギヤーアイドルシャフト		1
1-5	平ワッシャ大 M5	φ5.5xφ15xt1.2	2	1-22	Oリング、4D-P12.5	φ2.4 内径12.3	1
1-6	十字穴付トラス小ネジ	M5x10	2	1-23	インテークカムシャフト		1
1-7	サークリップ	STW-12	1	1-24	ダウェルピン	8x12	4
1-8	ベアリング	(6901)	2	1-25	ラバーガスケット		1
1-9	カムアイドルギヤ	33T	1	1-26	六角穴付ボルト	M5x25	2
1-10	バルブステムシール	ステム4mm	4	1-27	六角穴付ボルト	M6x25	6
1-11	バルブスプリング	4mm	4	1-28	六角穴付ボルト	M6x30	1
1-12	バルブコッタ		8	1-29	六角穴付ボルト	M5x10	8
1-13	リテーナ	φ17	4	1-30	タペットアジャストホールカバー		2
1-14	タペットシム	ドリーム50純正	4	1-31	タペットカバーガスケット	厚さ:0.5mm	2
1-15	ロッカーアームサイドスプリング		2	1-32	シリンダーヘッドサイドカバー		1
1-16	ロッカーアーム		4	1-33	六角穴付ボルト	M6x20	1
1-17	エキゾーストカムシャフト		1	1-34	六角穴付ボルト	M6x15	4
2	シーリングワッシャー	M10	1	22	六角穴付ボルト	M6x50	1
3	ユニオン	φ8	1	23	シールワッシャー	M6	1
4	プラグ、ボルト	M10xL12	1	24	クランクケースカバーガスケット		1
5	シリンダーヘッドガスケット	厚さ:0.25mm	1	25	クランクケースガスケット		1
6	ダウェルピン	φ8x14	2	26	SPクランクシャフトASSY.		1
7	メッキシリンダー	ボア54mm、シリンダ高69mm	1	27	オイルポンプシャフト	φ4.5	1
8	シリンダーガスケット		1	28	サークリップ	φ13	2
9	ダウェルピン	φ8x12	2	29	DLC ピストンピン	φ13x38	1
10	ラバーガスケット	12mm	1	30	WISECO ピストン	φ54	1
11	スタッドボルト	M6x26	1	31	ピストンリングセット	φ54	1set
12	ナット	M6	1	32	シリンダースタッドボルトA	197mm	2
13	六角穴付ボルト	M5x15	3	33	シリンダースタッドボルトB	209.5mm	2
14	O リング、G65		1	34	スパークプラグ ER8EH		1
15	タイミングギヤカバー		1	35	プラグキャップシール	8mm プラグ用	1
16	タイミングセンターピン		1	36	NGK プラグコード		1
17	タイミングスプロケット		1	37	プラグケーブルジョイント		1
18	強化カムチェーン	84 リンク	1	38	プラグレンチ	13mm	1
19	エキゾーストガスケット		1	39	六角穴付止めネジ	M6x40	2
20	シーリングワッシャー		4	40	原付二種用標識		1set
21	フランジ袋ナット	M6	4				

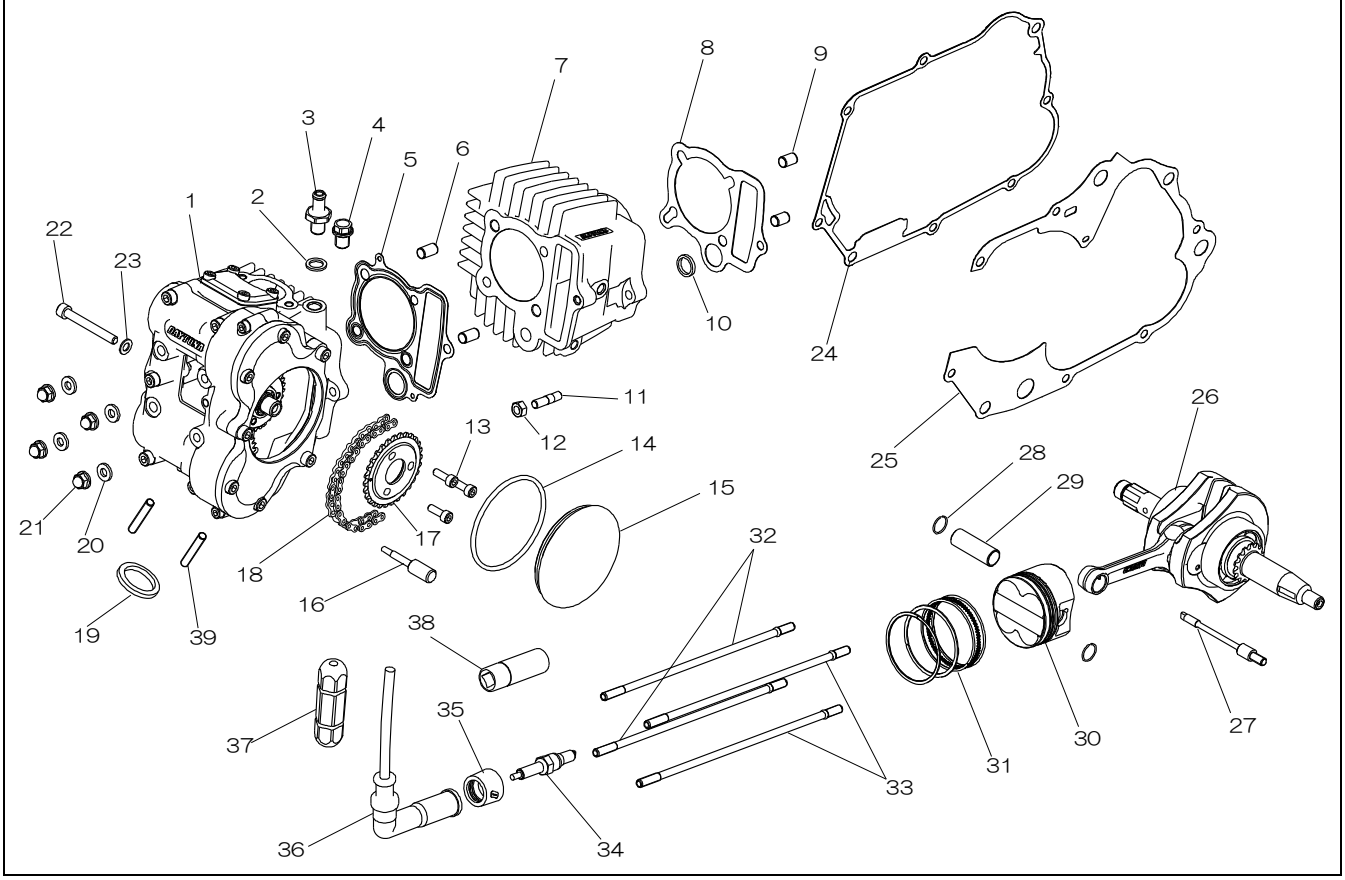
【シリンダーヘッド分解図 1】



【シリンダーヘッド分解図 2】



【部品図】



□　本商品の特徴　□

- ４バルブ、フィンガーフォロアーロッカーアーム採用の完全新設計ＤＯＨＣシリンダーヘッド。
- バルブサイズは IN 側 21.5mm、EX 側 18mm、ステム径 4.0mm の軽量バルブ採用
- 全面切削加工の燃焼室とセンタープラグによる、高い燃焼効率を実現。
- 軽量で強靭なワイセコ製鍛造ピストンを採用。
- ボア 54mm×ストローク 54.5mm で、原付二種の上限排気量 124.8cc となります。

□ 取付手順 □

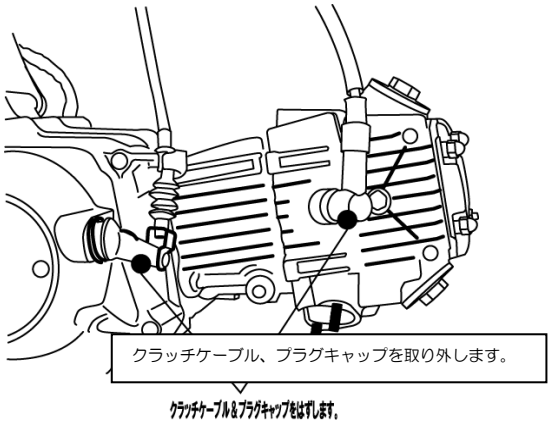
取り付け前に、商品の内容をご確認ください。
エンジン脱着作業はレーシングスタンド等を用いて車体をしっかりと保持し、
安全に作業を行ってください。
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認して作業を開始してください。

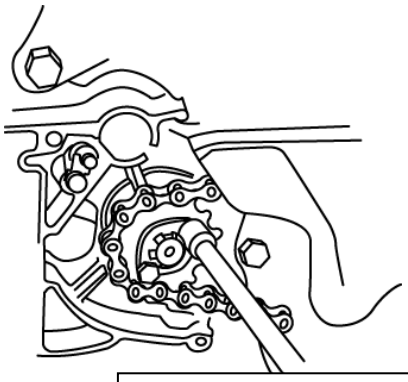
1. エンジンの取り外し

1-1. エンジンオイルを抜き取ります。

1-2. キャブレター、エキゾーストマフラー、サイドスタンドスイッチのカプラ、ステップを取外します。

1-3. クラッチケーブル、ドライブスプロケット（チェーン）、ACG からのハーネス（カプラ）、プラグキャップ、ケース後部のブリーザーホースを取り外します。



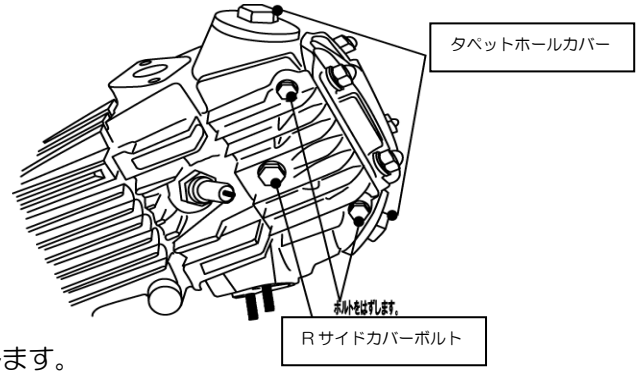


1-4. クランクケース下側にジャッキまたは当て木を用意し、エンジンハンガーを取り付けているボルトを緩めて取り外し、エンジンを車体から取り外します。

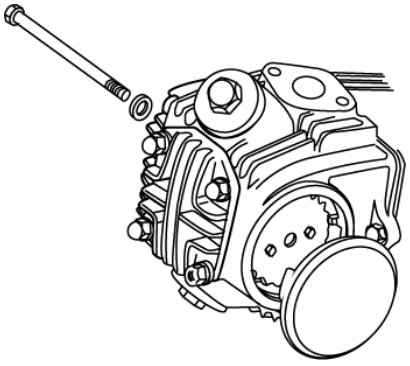
⚠注意
エンジンを落とさないように
注意して作業してください。

2. シリンダーヘッド、シリンダーの分解

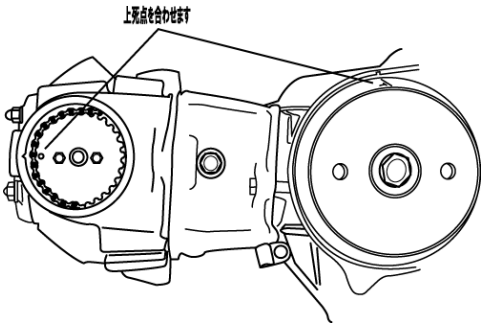
2-1. タペットホールカバー・Ｒサイドカバーを固定しているボルトを予め緩めておきます。

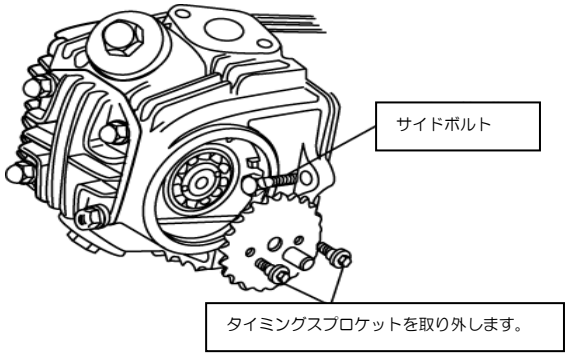


2-2. スパークプラグを取り外します。
2-3. Ｌサイドカバーを取り外します。

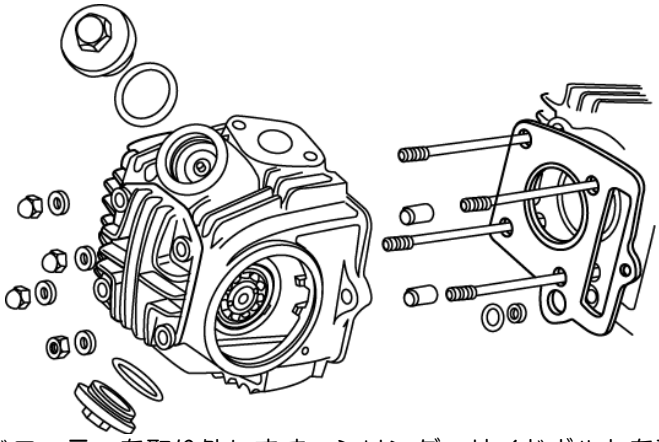


2-4. クランクを圧縮上死点に合わせ、カムスプロケットを取り外します。

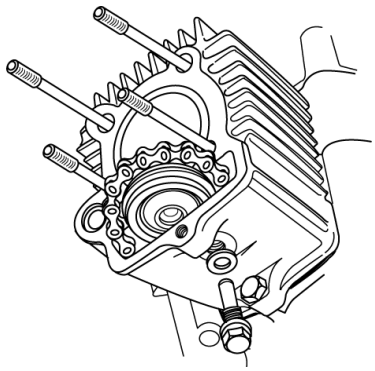




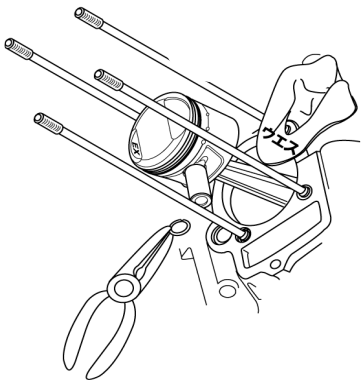
2-5. シリンダーヘッドサイドボルトと、シリンダーヘッド取付ナット４個を緩め、シリンダーヘッドを取り外します。



2-7. カムチェーンガイドローラーを取り外します。シリンダーサイドボルトを取り外してシリンダーを抜き取ります。

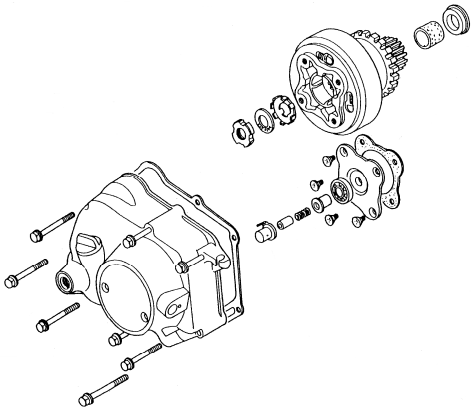


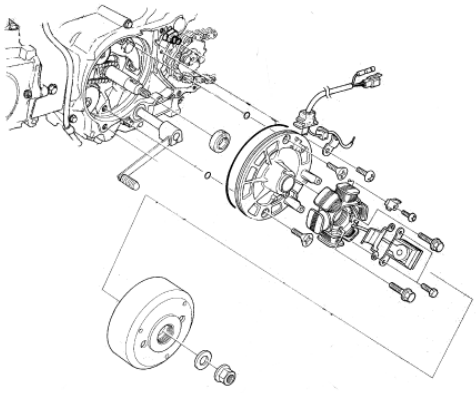
2-8. ピストンピンクリップを取り外し、ピストンピンを抜いてピストンを取り外します。



⚠注意
ピストンピンクリップがクランクケース内部に落下しないように、クランクケースの開口部をウエスで覆って作業してください。

3. クラッチ、ステーターコイルベースの分解



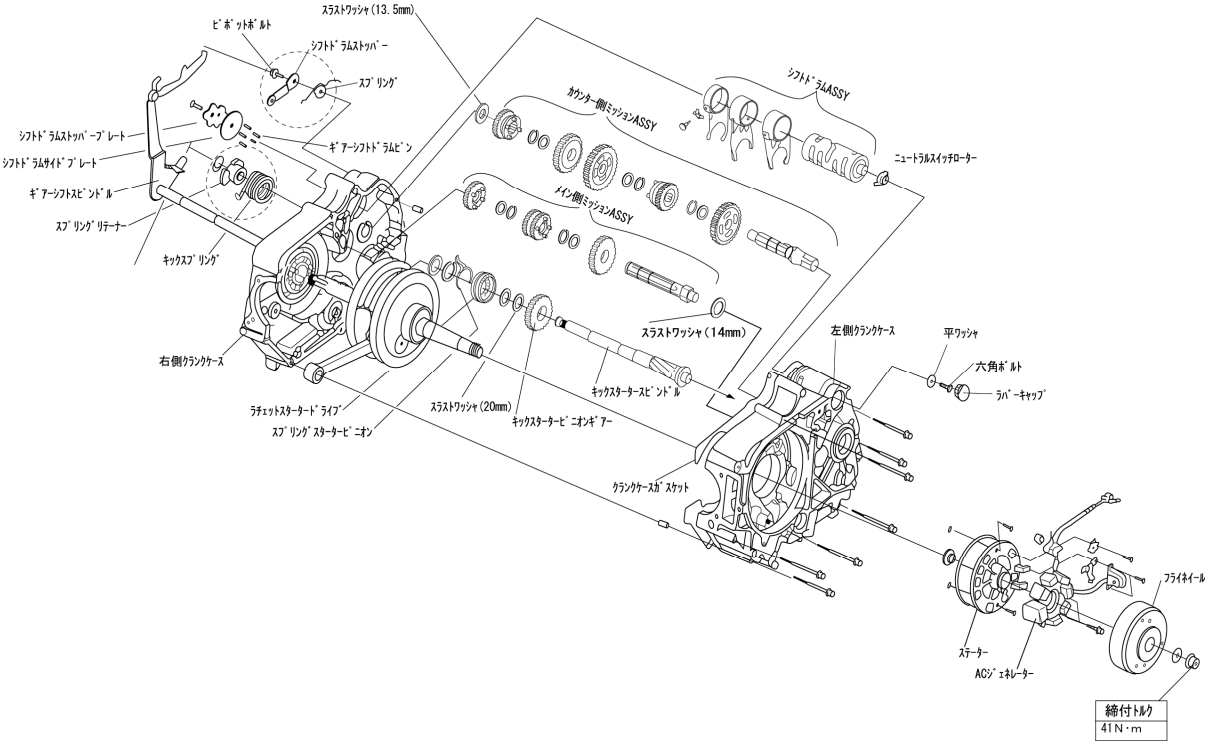


3-1. キックペダルを取り外し、R クランクケースカバーを取り外します。
3-2. オイルスルーとオイルスルースプリングを取り外します。
3-3. クラッチアウターカバーを取り付けている皿ネジを緩め、アウターカバーを取り外します。
3-4. クラッチ内部のロックワッシャを外して、クラッチ ASSY を取り外します。

3-5. エンジン左側の、ACG ロータとステーターコイルベース類を取り外します。クランクシャフトについているウッドラフキーを、クランクシャフトから取り外します。（ウッドラフキーは再使用します）

> **⚠注意**
> コイルベース裏側のOリング等の小さな部品を無くさないように注意してください。

4. クランクケースの分割



4-1. ギヤシフト周りなど、ケース外側についている部品を取り外します。
・プライマリードリブンギヤ、シフトドラムストッパープレート、シフトドラムストッパー
・キックリターンスプリング、シフトスピンドル、オイルポンプ
・エンジン左にあるラバーキャップとその中のボルト

4-2. クランクケースのボルト 7 本を緩めて取り外し、クランクケースを分割します。

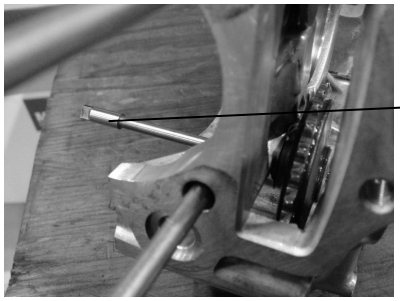
4-3. クランクシャフト、トランスミッション ASSY.を取り出します。

クランクケースを分解し、必要な作業をおこないます。

・クランクケースダウェルピンの取り外し（錆びている場合は新品に交換してください、）
・ガスケットの除去
・洗浄
・クラック等の確認。クラックが見られる場合はそのクランクケースは使用できません。（クラックは特にＬクランクケースのフライホイール上部付付近に多い。）
・クランクケースボーリング、オイルポンプオリフィス、ミッション交換によるケース内リブ除去などの加工
・各ベアリング、オイルシール類の確認、交換

5. クランクシャフトの交換、クランクケースの組み立て

5-1. 27.オイルポンプシャフトを、純正と交換します。



27 オイルポンプシャフト

5-2. クランクケースに、トランスミッションおよびキックシャフトを組み込みます

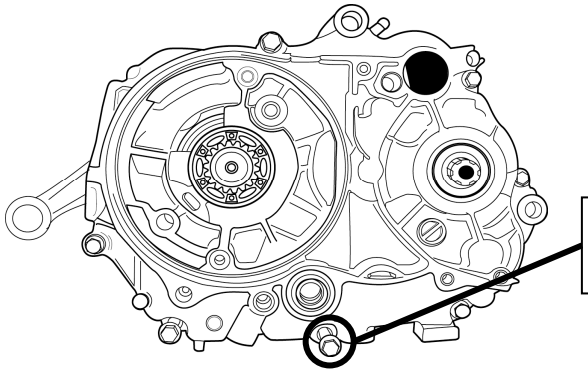
トランスミッションを分解もしくは交換した場合、組み立てについてはホンダ純正サービスマニュアル、もしくは交換するトランスミッションキットの取扱説明書を参照してください。

5-3. 26.ＳＰクランクシャフト ASSY をパーツクリーナー等で洗浄し、コンロッド大端部とサイドベアリングにエンジンオイルをたっぷりと塗布します。

5-4. ＳＰクランクシャフト ASSY をクランクケースに組み込みます。

5-5. トランスミッションおよびキックシャフトが正しく組み込まれているか確認したら、右側のクランクケースをかぶせます。

5-6. 手順 4-2 で取り外したボルト 7 本を締め付け、クランクケースを組み立てます。



締め付けトルク
10N・m（1.0kgf-m）

締め付け後、クランクシャフトやトランスミッションなどのシャフト類がスムーズに回ることを確認してください。

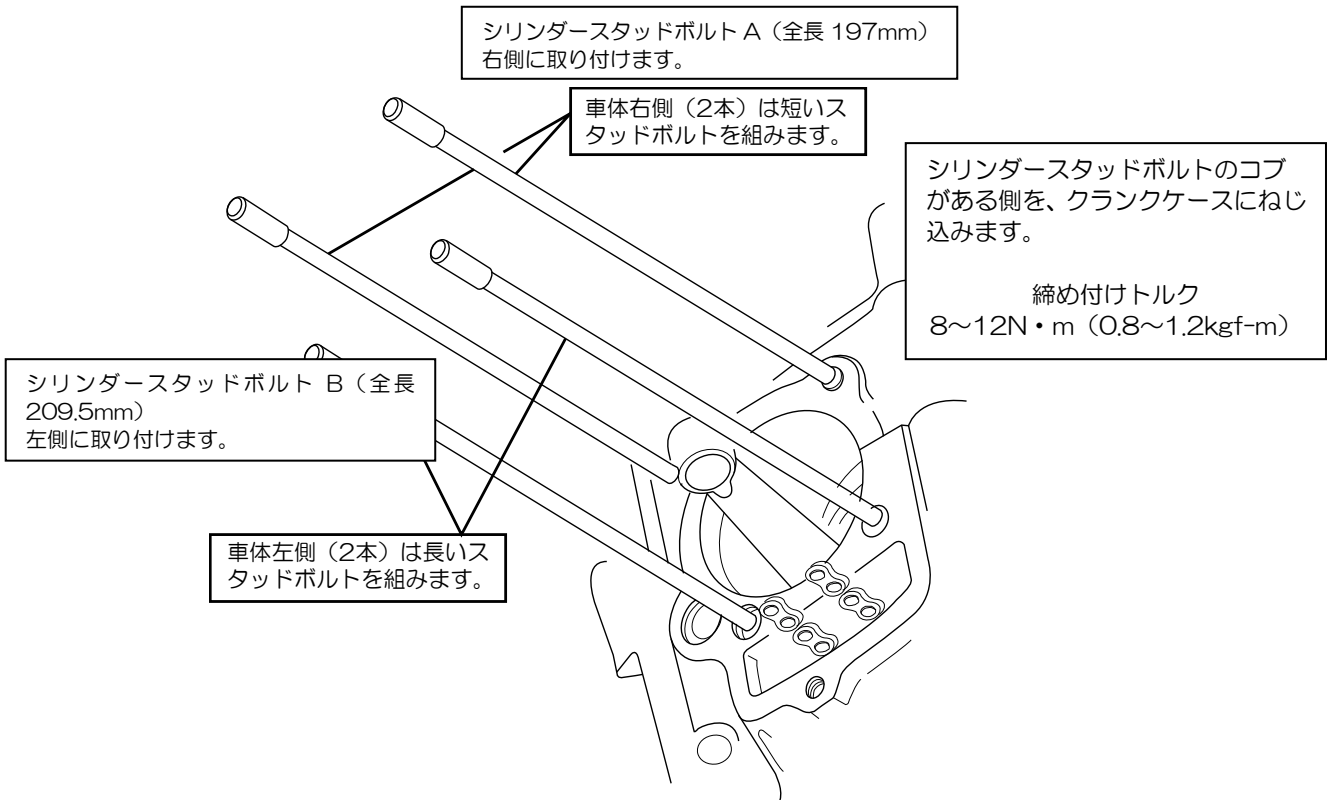
5-7. 18.強化カムチェーンをクランクシャフトのカムチェーンスプロケットに引っかけます。

5-8. 分解した工程を戻り、エンジンを組み立てます。
（手順 4-1 より：ギヤシフト周りの部品の取り付け）
（手順 3-5 より：ウッドラフキー、アウターローター等の取り付け）
（２次側クラッチ、オイルポンプの取り付け）

クラッチおよびアウターローターの取り付けについては、
お持ちのクラッチキットおよびアウターローターキット等の取扱説明書を参照してください。

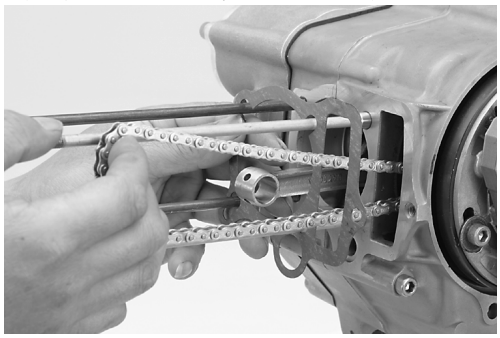
6. ビッグボアシリンダーの取り付け

6-1. 32/33.シリンダースタッドボルト A/B を交換します。取り付けには M6 ナットをダブルナットとして使用するか、スタッドボルトセッタ等を使用します。また、**<u>シリンダースタッドボルトにはネジ緩め止め剤（中強度以上）を使用してください。</u>**

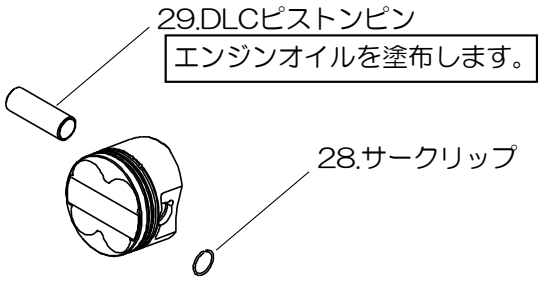


6-2. 9.ダウェルピン（長さ 12mm）をクランクケースにセットします。

6-3. 8.シリンダーガスケットと 10.ラバーガスケットを、クランクケースに装着します。

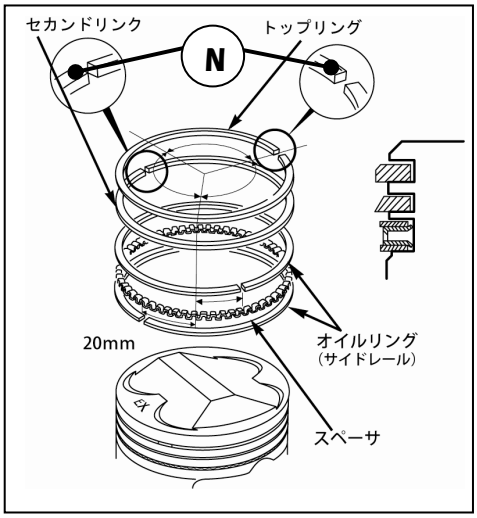


6-4. 30.WISECO ピストンの、ピストンピン穴の片側に 28 サークリップを取り付けます。
6-5. 30.WISECO ピストンのピストンピン穴にオイルを塗布します。
6-6. 29.ＤＬＣピストンピンと、コンロッド小端のピストンピン穴にオイルを塗布します。



6-7. 30.WISECO ピストンに、31.ピストンリングセットを取り付け、オイルを塗布します。

■ピストンリングの特徴
①トップリング
リング外周にメッキ処理がしてあります。リング合口の“**N**”印をピストントップ方向に向け、装着してください。
②セカンドリング
パーカライジング処理により、リング全体が黒色になっております。
リング合口の“**N**”印をピストントップ方向に向け、装着してください。
③オイルリングサイドレール
他のリングとは違い薄いリングになります。上下方向はありません。
④スペーサー
ばね状のリングで、エキスパンダとも呼びます。

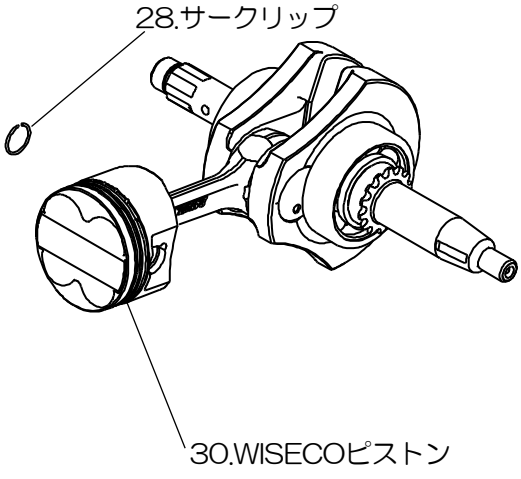


6-8. リングの装着が終わった 30.WISECO ピストンに、29.ＤＬＣピストンピンを装着し、コンロッドに取り付けます。

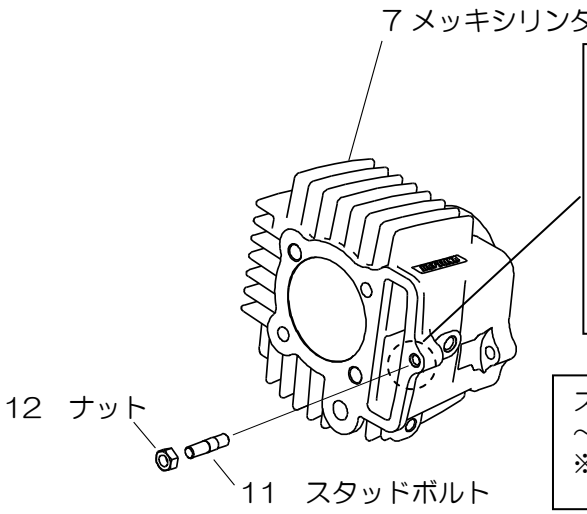
⚠注意
WISECO ピストンのリセス部分の”EX”印は必ず排気側に向け装着してください。

6-9. ピストンの反対側に 28.サークリップを取り付けます。

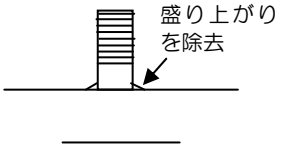
［注意］
＊サークリップをクランクケース内部に落とさないようにウエス等をつめて作業してください。



6-10. 11.スタッドボルトにねじ緩み止め剤を塗布し、7.メッキシリンダーに取り付けます。



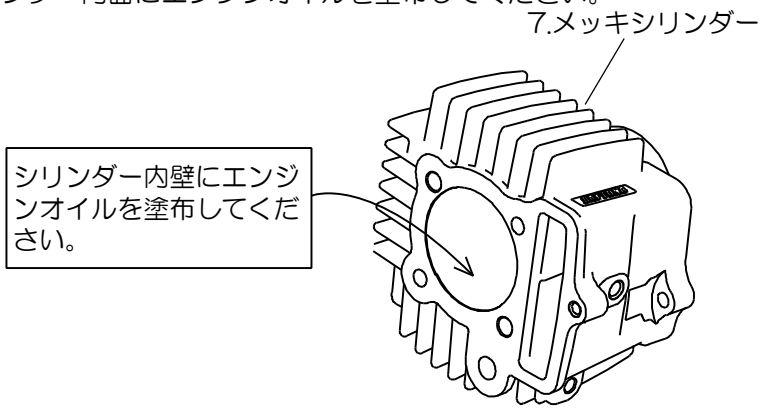
⚠注意
スタッドボルトをねじこんだ際、周囲が盛り上がってシリンダー平面が損なわれる場合は一度スタッドボルトを外して面出しをおこなってください。



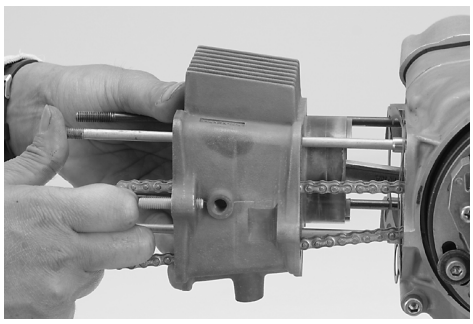
スタッドボルトの締め付けトルク：5～8N・m（0.5～0.8kg・m）
※締め過ぎに注意してください

⚠注意
もしもオイル滲みが見られる場合、メッキシリンダー上面の平面を再確認してください.平面が出ていない場合、オイルストーンで盛り上がった部分を修正してください。

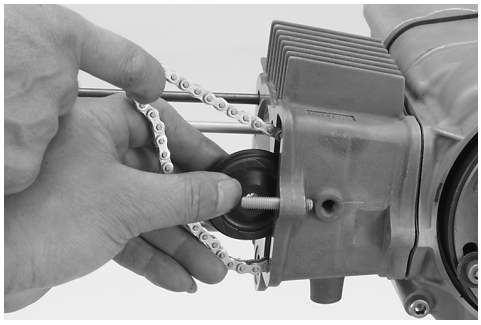
6-11. 7.メッキシリンダー内面にエンジンオイルを塗布してください。



6-12. ピストンリング合口の位置に注意して、7.メッキシリンダーを装着します。ピストンリングに無理な力がかからないように注意して、メッキシリンダーに WISECO ピストンを挿入します。

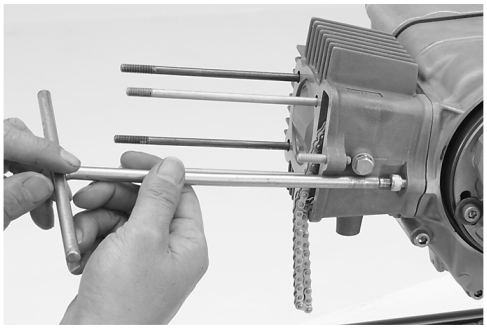


6-13. カムチェーンガイドローラーを取り付けます。



カムチェーンガイドローラーボルト
締め付けトルク
8～12N・m（0.8～1.2kgf-m）

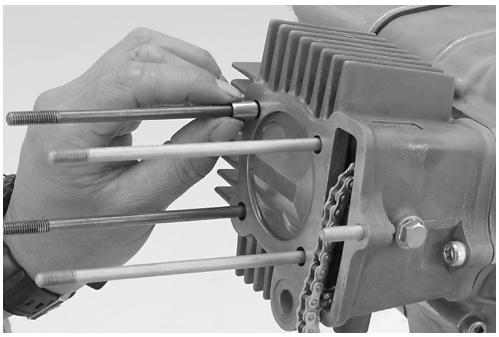
6-14. シリンダーサイドボルトを仮止めします。

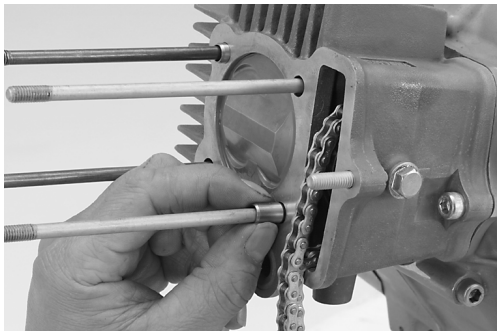


シリンダーサイドボルト
締め付けトルク
8～12N・m（0.8～1.2kgf-m）

7. DOHC シリンダーヘッドの取り付け

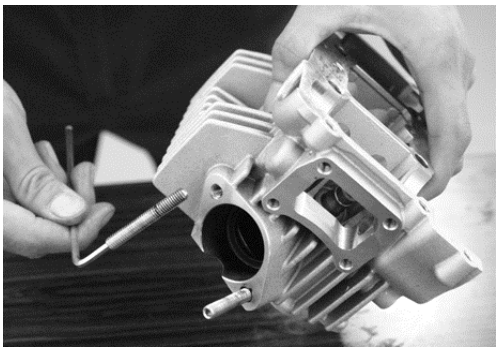
7-1. 6.ダウェルピン（長さ 14mm）を、シリンダーにセットします。





7-2. 5.シリンダーヘッドガスケットを装着します。

7-3. 1.シリンダーヘッド ASSY に 39.六角穴付き止めネジ（M6X40）にネジ緩み止め剤（中強度以上）塗布し、組み付けます。

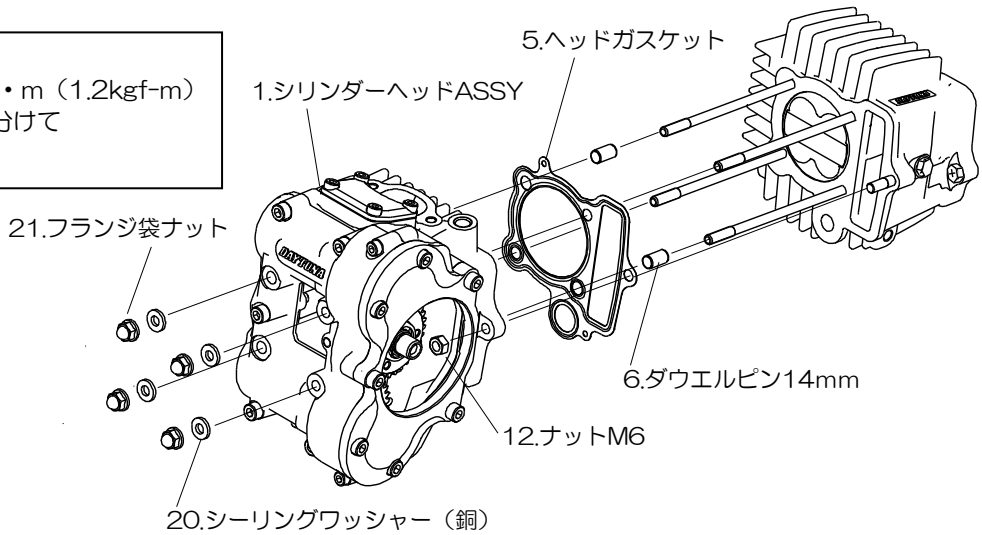


7-4. 1.シリンダーヘッド ASSY を取り付けます。その時同時に 12.ナットを、手順 6-10 で取り付けたスタッドボルトにかけておきます。

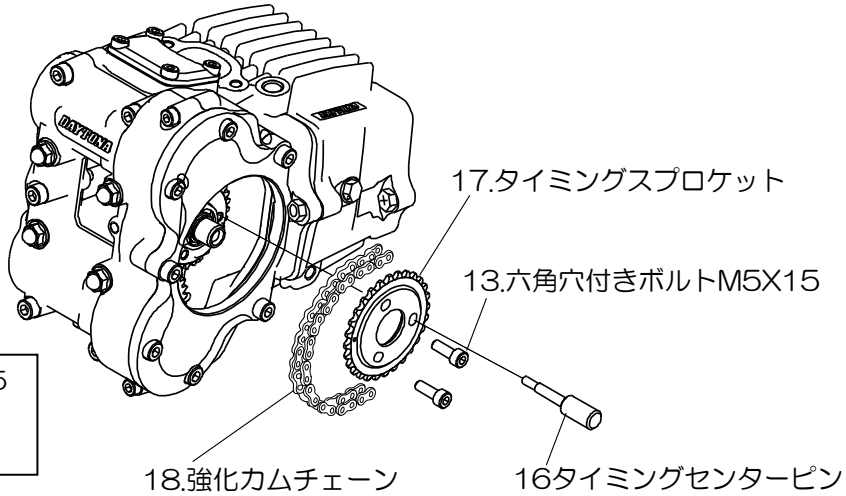
7-5. 20.シーリングワッシャー４枚と、21.フランジ袋ナットを装着し、シリンダーヘッドを固定します。

7-6. 手順 6-14 で仮止めしておいたシリンダーサイドボルトと、手順 7-3 でかけておいた 12.ナットを本締めします。

21 フランジ袋ナット
締め付けトルク：12N・m（1.2kgf-m）
※　対角に２～３回に分けて
締め付けてください。

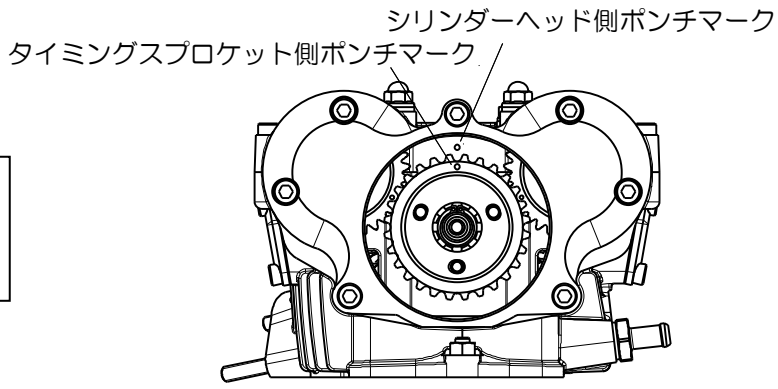


7-7. カムギヤーアイドルシャフトにセットされているサークリップを一旦外し、カムギヤーアイドルシャフトを奥にずらしてから 18.強化カムチェーンを 17.タイミングスプロケットに掛けて取り付け、16.タイミングセンターピン（位置合わせ用）を差し込み、13.六角穴付ボルト（M5×15）を仮締めします。



13.六角穴付きボルト　M5x15
締め付けトルク
8N・m（0.8kgf-m）

7-8. ピストンが上死点にあることを確認し、シリンダーヘッド側ポンチマークと、タイミングスプロケット側のポンチマークをあわせます。

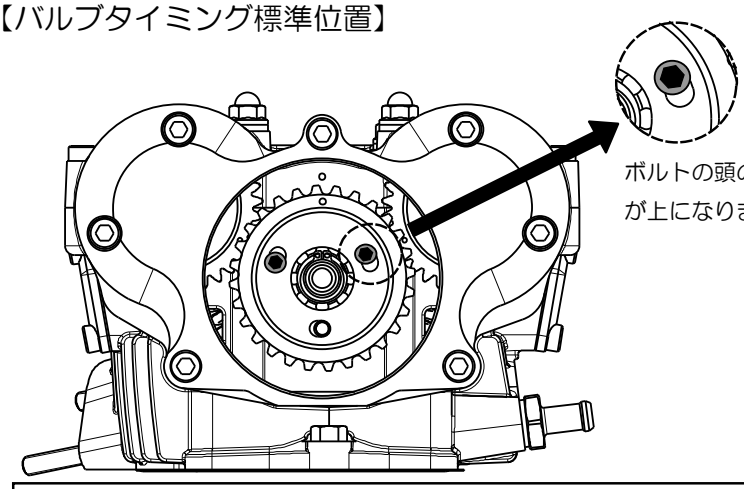


⚠注意
アイドルギヤが脱落しないように注意してください。

カムアイドルギヤ側ポンチマークとシリンダーヘッド側ポンチマークを合わせます。

7-9. バルブタイミングを標準位置に合わせ、タイミングセンターピンを取り外し、残り１本のボルトを取り付けます。３本のボルトを本締めします。

【バルブタイミング標準位置】

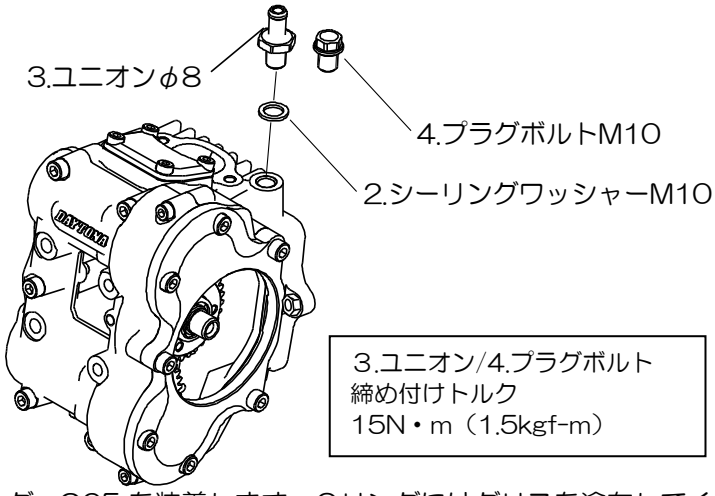


タイミングスプロケット長穴に対して上記の位置を調整してください。
もっともバルブタイミングを進めた状態が標準位置になります。

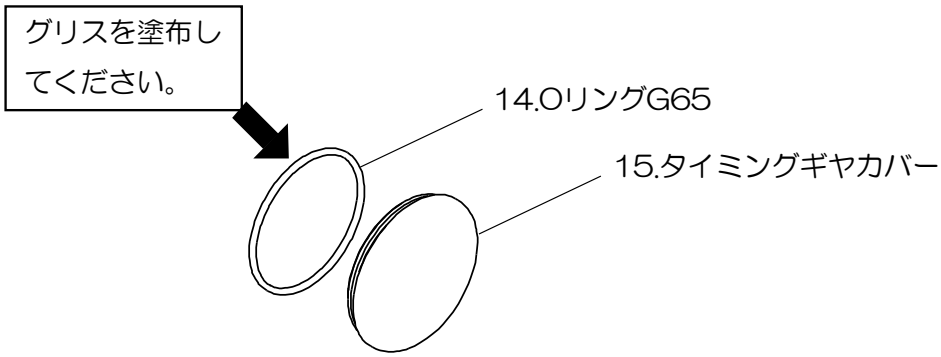
7-10. カムギヤーアイドルシャフトのサークリップを、元通りの位置に取り付けます。

⚠注意
※カムギヤーアイドルシャフトが抜けたり、回ったりしないように注意して作業してください。

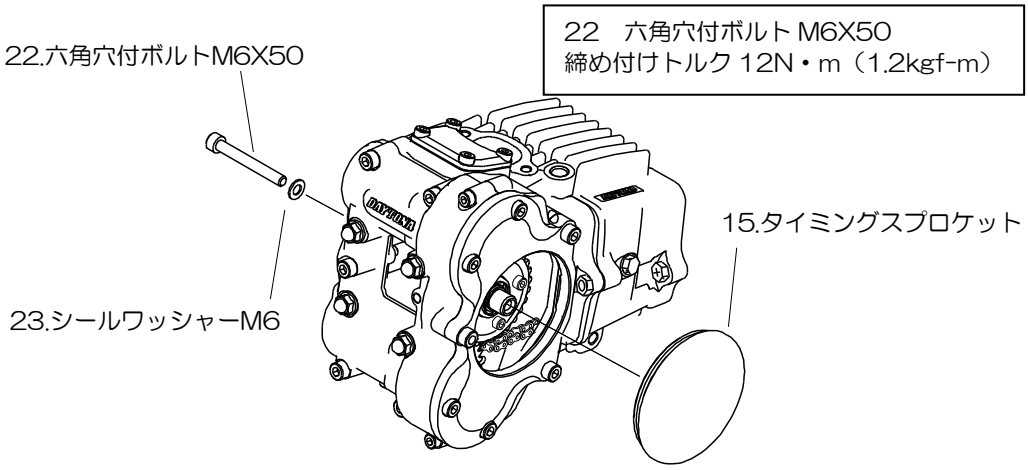
7-11. 1.シリンダーヘッド ASSY.に 2.シーリングワッシャーを使用し、3.ユニオン又は 4 プラグ、ボルトを取り付けます。（オイルキャッチタンク等を使用してブローバイを抜く場合は 3 ユニオンを使用します。）



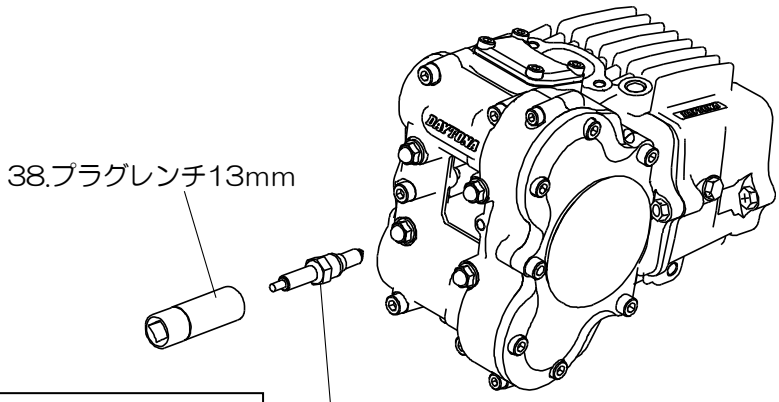
7-12. 15.タイミングギヤカバーに 14.O リング、G65 を装着します。Oリングにはグリスを塗布してください。



7-13. 点火プラグ側から 22.六角穴付ボルト（M6×50）と 23.シールワッシャーM6 を使用して、タイミングギヤカバーを固定します。



7-14. 34.スパークプラグ ER8EH を付属の 38.プラグレンチ（13mm）を使用して取り付けます。



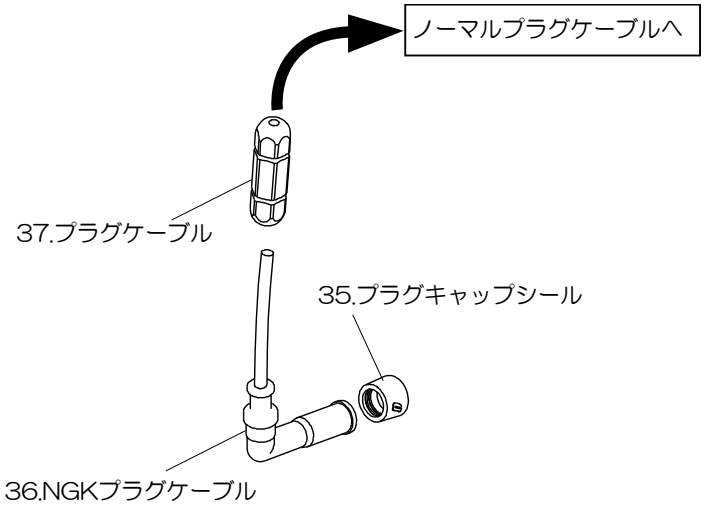
スパークプラグ締め付けトルク
15N・m（1.5kgf-m）

7-15. 6V 車は、ホンダ純正サービスマニュアルに従い、カムチェーンの調整を行います。

8. 電装部品の取り付け

8-1. 36.NGKプラグコードのプラグキャップシールを付属の 35.プラグキャップシール（8mm プラグ用）に交換します。

8-1. ノーマルのプラグケーブルを切断し、付属の 37.プラグケーブルジョイントで 36.NGKプラグコードを取り付けます。



⚠注意

右出しのマニホールドを使用する場合、イグニッションコイルの移設が必要です。プラグケーブルは十分に余裕を持った長さにしてカットしてください。

DOHC シリンダーヘッドの取り付け手順は以上です。
その後は取り外し手順を逆にたどり、

- ○ エンジンの搭載
- ○ キャブレター（マニホールドセット）の取り付け
  ※取り付け詳細はマニホールドセットの取扱説明書を参照、確認してください。
- ○ エキゾーストマフラーの取り付け
  ※取り付け詳細はマフラーの取扱説明書を参照、確認してください。
- ○ エンジンオイル注入

などを行い、各部の確認が完了したらエンジンを始動させます。
エンジンを始動させたら、各部に異常が無いか確認します。

※このシリンダーヘッドはカムギヤ駆動部分からギヤ鳴り音が出ますが、この音は異常ではありません。

推奨セッティング

PE28 キャブレター	M/J	#115～125
	S/J	#38
	スロットルバルブ	#3
	ジェットニードル	46JFN（2～4 段）
ＦＣＲ３３キャブレター（1000-S30-A0）	M/J	#120～130
	S/J	#42
	ジェットニードル	９０ＥＺＲ（2～4 段）
レーシングアウターローター	点火時期	タイミング１　or　３
ミドルウエイトアウターローター		タイミング１　or　３
バルブタイミング	標準	最大進角

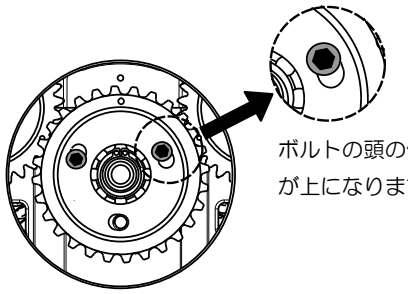
※　組み合わせるマフラー他のエンジンパーツに影響を受けて変化する場合があります。
※　アウターローター装着時のアイドリング回転数は 2500～3000ｒｐｍを基準としてください。
※　季節の変化や気温、湿度、高度（気圧）により最適なキャブレターセッティングは常に変化します。
※　燃料はハイオクガソリンを使用してください。

【バルブタイミングのセッティング方法】

基本的には標準で使用してください。タイミングスプロケットの長穴に対しての六角穴付ボルトの頭の位置をすらす事でバルブタイミングの調整が可能です。以下の方法で調整してください。

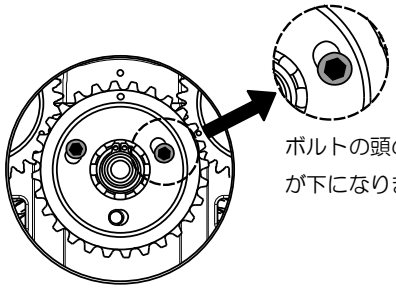
【標準】

推奨の設定です。もっともバルブタイミングを進めた状態が標準位置になります。低速から高速までバランスよくエンジンパワーが発生します。



【高速型】

もっともバルブタイミングを遅くした状態が高速型になります。レブ領域での伸びが向上しパワーアップします。ただし、給排気の組み合わせによっては低中回転（６～8000ｒｐｍ）で谷（回転の引っ掛かり）が出やすくなり、低中回転がパワーダウンします。



□ 補修部品 □

2013年6月時点での品番および税抜価格となります。

番号	商品名	品番	本体価格（税抜）	備考
1-1	シリンダーヘッド&カバーセット	78953	￥25,000	
1-2	インテークバルブ　φ21.5 / φ4.0	78954	￥1,200	1本
1-3	エキゾーストバルブ　φ18 / φ4.0	78955	￥1,200	1本
1-4	ロッカーアームシャフトφ10	78971	¥600	1本
1-5/1-6	平ワッシャ大&十字穴付トラス小ネジセット	78975	¥250	1枚&1本セット
1-7	サークリップSTW12	74422	￥160	1個
1-9	カムアイドルギヤ　33T	78960	¥5,500	ベアリング6901（2個）付属
1-11	バルブスプリング	78956	¥600	1個
1-12	バルブコッタ　4mm	78957	¥250	2個1セット、バルブ1本分
1-13	リテーナ　φ17	78972	¥1,400	1個
1-15	ロッカーアームサイドスプリング	78973	¥400	1個
1-16	ロッカーアーム	78970	¥120	1個
1-17	エキゾーストカムシャフト	78963	¥13,000	カムギア、ベアリング組み込み済み
1-21	カムギヤーアイドルシャフト	78961	¥4,200	1個
1-23	インテークカムシャフト	78962	¥13,000	カムギア、ベアリング組み込み済み
1-30	タペットアジャストホールカバー	78959	¥2,300	1個
1-32	シリンダーヘッドサイドカバー　T9.5	78958	¥10,000	1個
1-31/5/8/10/19	ガスケットセット	78969	¥2,000	ヘッドガスケット、シリンダーガスケット、ＥＸガスケット、ラバーガスケットのセット
1-22/14	Oリングセット	78964	¥650	
2	シーリングワッシャー	45268	￥350	7枚入り
3	ユニオン	66828	￥998	1個
4	プラグボルトM10XL12	64693	￥650	1個
7	メッキシリンダー54mm	77742	￥20,000	1個
11	スタッドボルトM6X26	69673	￥270	1個
15	タイミングギヤカバー	69717	￥5,000	1個
17	タイミングスプロケット	49652	￥3,200	1個
18	強化カムチェーン84L	65944	￥3,000	1個
24	クランクケースカバーガスケット	28324	￥480	1枚
26	ＳＰクランクシャフトASSY	72879	￥36,000	
27	オイルポンプシャフト	69674	￥4,000	1本
29	DLCピストンピン	78968	￥2,500	1個
30	WISECOピストン	78967	￥20,000	1個
1-31/5/8/10/19/28/29/30/31	WISECOピストンキット	78966	¥26,500	
31	ピストンリングセット	69670	￥3,000	
32/33	シリンダースタッドボルトセット	74438	￥4,500	
35	プラグキャップシール/8mm プラグ用	78974	¥1,100	1個

□ ホンダ純正部品（補修代用可能品） □

番号	品名	ホンダ純正部品番号	備考
1-10	EX ステムシール	12209-KT7-013	
	IN ステムシール	12208-KY2-003	
1-14	タペットシム	-	ホンダドリーム 50（AC15）用
1-25	ラバーガスケット 9mm	91305-028-900	ヘッドとヘッドカバーの間に入るOリング
6	ダウェルピン 8×12	94301-08120	
9	ダウェルピン 8×14	94301-08140	
10	ラバーガスケット、12mm 角形	91303-035-000	シリンダーベース部に入るOリング
20	銅ワッシャ、シーリング	90443-035-000	
23	シールワッシャーM6	90478-700-000	
25	クランクケースガスケット	11191-GW8-680	

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

この用紙は再生紙を使用しております。

URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

*取り付ける前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

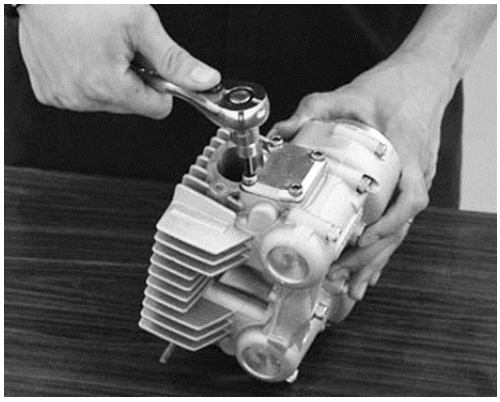
フィンガーフォロアーDOHC ヘッド１２４.８ｃｃ メンテナンスマニュアル

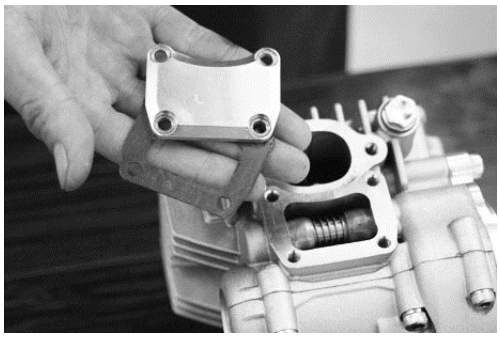
⚠注意

このメンテナンスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。

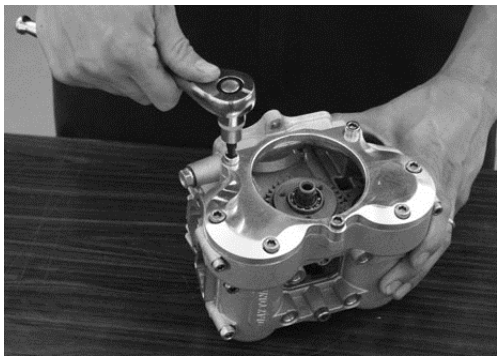
〈ヘッド分解方法〉

1. IN/EX の各 4 本の 1-29 六角穴付ボルト（M5X10）を外し、1-30 タペットアジャストホールカバーと 1-31 タペットカバーガスケットを外します。





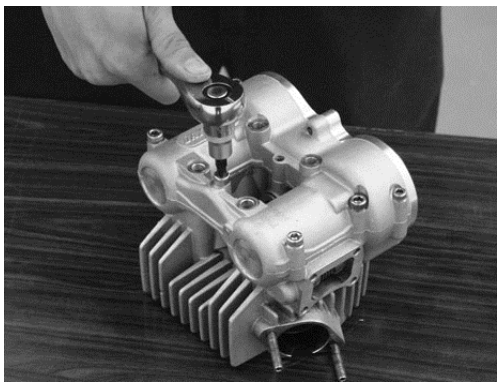
2. 1-32 シリンダーヘッドサイドカバーを固定している7本の六角穴つきボルト（1-27：M6X25ｘ2 本、1-33：M6X20ｘ1 本、1-34：M6X15ｘ4 本）を外します。



⚠注意

場所によりボルトの長さが異なりますので、外した位置が分からなくならないよう注意が必要です。

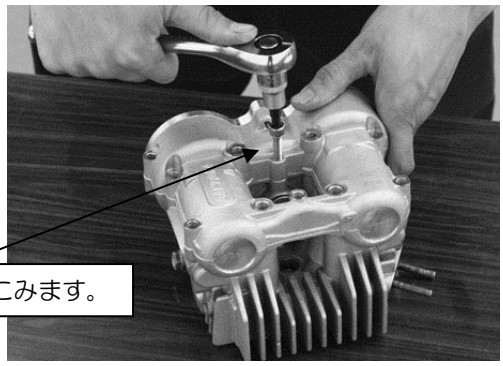
3. 1-1 シリンダーヘッドカバーを固定している６本の六角穴付ボルト（1-27：M6X25ｘ４本、1-28：M6X30ｘ１本、1-26：M5X25ｘ２本）を外します。



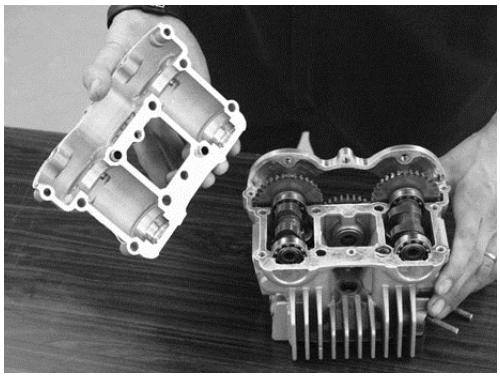
⚠注意

場所によりボルトのサイズ、長さが異なりますので、外した位置が分からなくならないよう注意が必要です。

4. 1-1 シリンダーヘッドカバーの空のＭ６の雌ネジ箇所に適当な 25mm以上の長さの六角穴付きボルトをねじ込みます。ねじを締める方向に回して行くとヘッドカバーが浮き上がってきます。



5. 1-1 シリンダーヘッドカバーはプラスチックハンマーで軽くたたきながら外します。



⚠注意

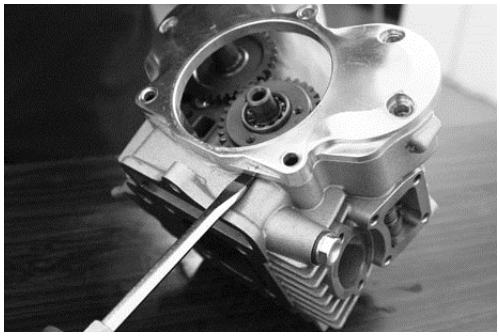
プラスチックハンマーは力を入れて叩きすぎないようにしてください。

6. 1-25 ラバーガスケット１本と 1-24 ダウエルピン２本（Φ8X12）を外します。

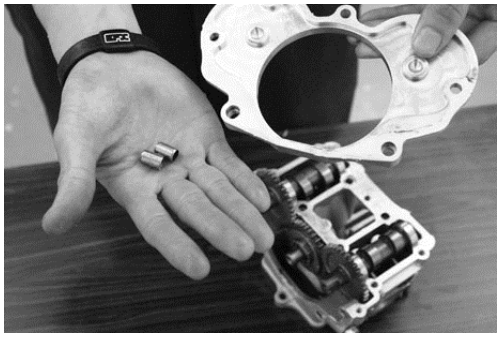
⚠注意

ラバーガスケットは再利用せずに交換してください。

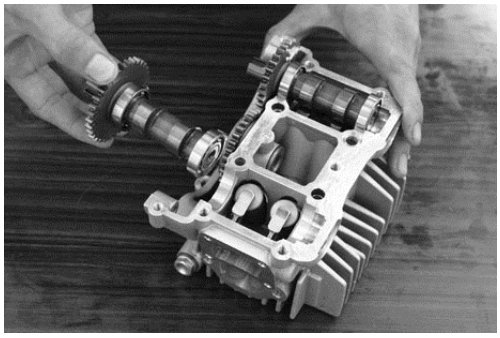
7. 1-32 シリンダーヘッドサイドカバーが固着して外れにくい時は、マイナスドライバー等でカバー下側をこじって外します。



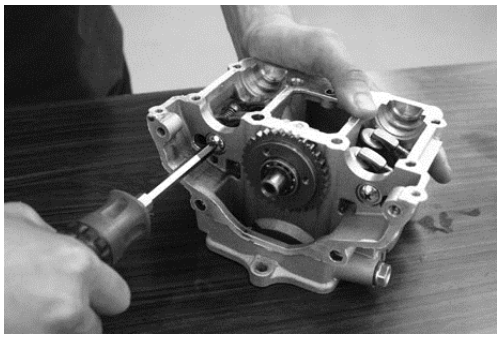
8. 1-24 ダウエルピン２本（Φ8X12）を抜き取ります。



9. IN/EX それぞれの 1-23/1-17 カムシャフト ASSY を外します。

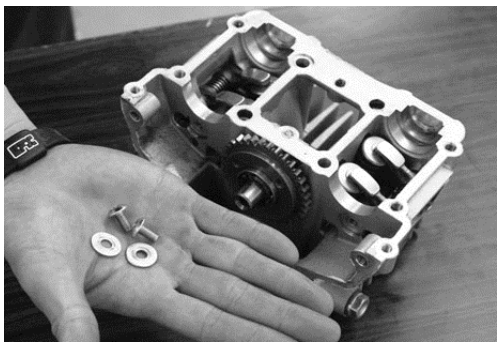


10. 1-6 十字穴付きトラス子ねじ２本（M5X10）を外します。

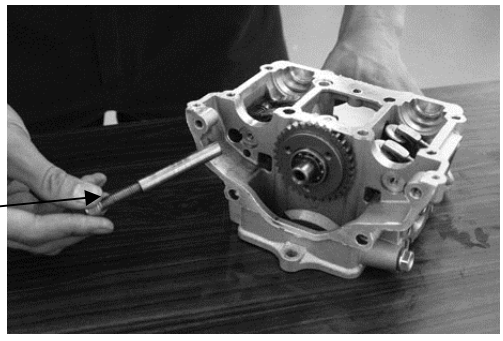


⚠注意

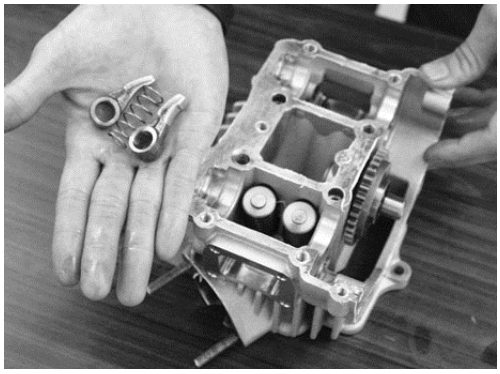
ネジの頭が舐めやすいので注意して作業してください。



11. 1-4 ロッカーアームシャフト２本に適当なM8のボルトをねじ込み、引っ張って抜きとります。



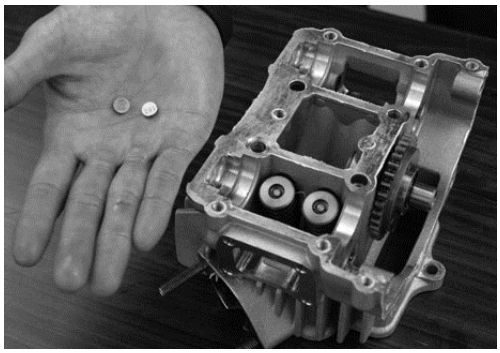
12.1-16 ロッカーアームと 1-15 ロッカーアームサイドスプリングを外します。



⚠注意

ロッカーアームは元の装着箇所に戻せるように注意してください。

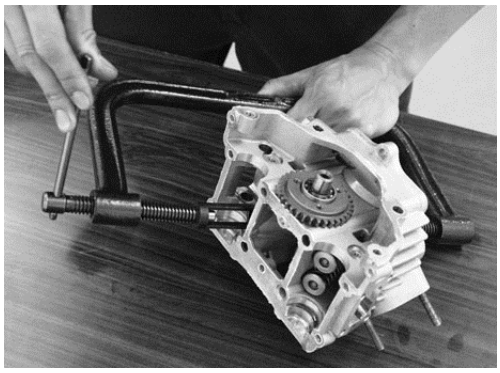
13.1-14 タペットシムを外します。



⚠注意

元の装着箇所に戻せるように注意してください。

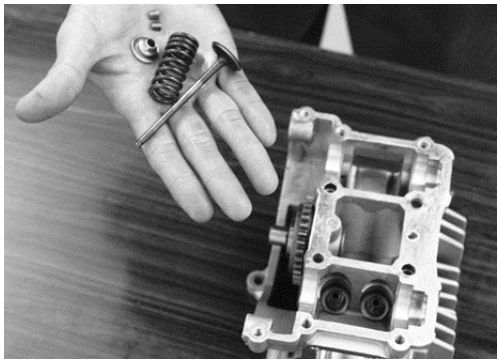
14.バルブスプリングコンプレッサーを使用して 1-12 バルブコッタを外し、1-13 リテーナ、1-11 バルブスプリング、1-2/1-3 バルブを外します。
15.1-10 バルブステムシールをマイナスドライバーなどでこじって外してください。



⚠注意

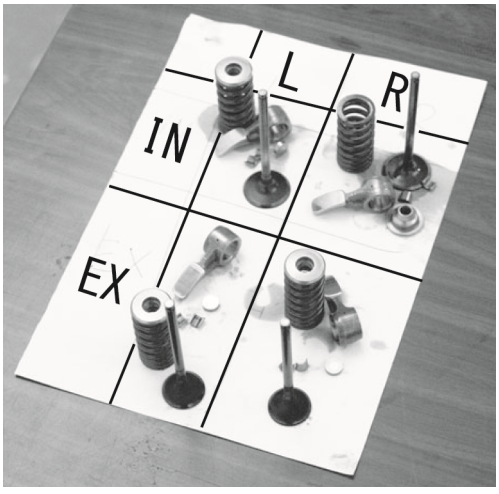
バルブステムシールは再利用せずに交換してください。

16.4 か所とも外します。

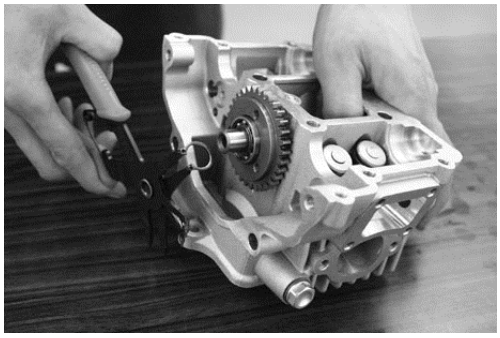


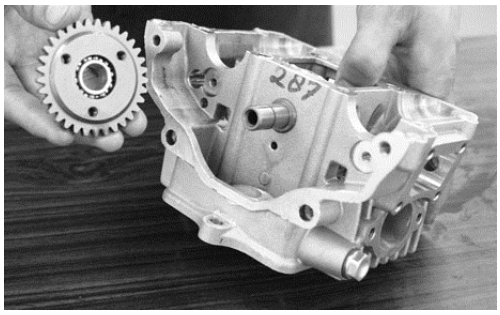
⚠注意

元の装着箇所に戻せるように注意し、分解後は整理してください。

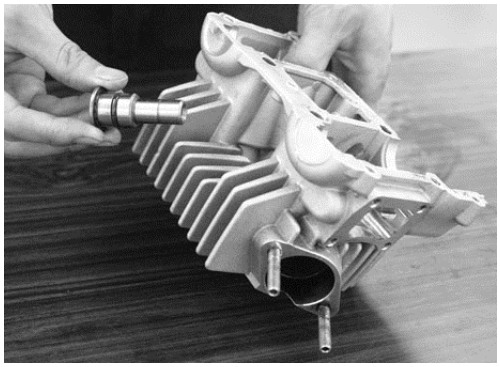


17.サークリッププライヤーを使用して 1-7 サークリップ（STW12）を外し、1-9 カムアイドルギヤを外します。





18.1-21 カムギヤアイドルシャフトをプラスチックハンマーで軽く叩いて抜き取ります。



19.1-21 カムギヤアイドルシャフトから 1-22Oリングをはずします。

20.各部品を洗油やパーツクリーナーで洗浄し、エアブローしてください。

〈シリンダーヘッド及び、部品の点検個所〉	
【カムシャフトの点検】 • ベアリングをパーツクリーナーで洗浄してから回転させ、ガタや引っ掛かりが無いか点検します。 • カムギヤの表面に傷や異常な摩耗が無いか確認します。 • カムシャフトの山に偏摩耗や傷、焼けが無いか確認します。	問題があった場合は、交換してください。
【バルブスプリングの点検】 バルブスプリングの自由長を測定し、使用限度をこえていないかどうか確認します。	サービスデータを参考に問題があった場合は、交換してください。
【バルブの点検】 • シート部分の当りを確認します。偏芯して当っていないかどうか、当り幅が規定値を超えていないか確認します。 • バルブの曲がり、焼きつき、傷、異常磨耗がないか確認します。 • バルブステムの外径を測定し、使用限度を越えていないかどうか点検します。	サービスデータを参考に問題があった場合は、交換してください。
【バルブガイドの点検】 • 内径を測定し使用限度を超えていないか確認します。	使用限度を超えている場合は内燃機屋等に依頼して製作してください。
【シリンダーヘッドの点検】 • シリンダーヘッドとシリンダーの合い面の平面度を確認します。 • バルブガイドの内径を測定し、使用限度をこえていないかどうか確認します。また、バルブガイドとバルブステムの隙間を計算し、使用限度を越えていないかどうか確認します。	サービスデータを参考に問題があった場合は、交換してください。
【バルブシートの点検】 • バルブの堆積物を取り除き、シリンダーヘッドのバルブシートに光明丹を均一に薄く塗布します。 • バルブたこを使ってバルブを回さずに軽く叩き、バルブシートのあたり面を点検します。	偏芯や当たりが広い場合は内燃機屋等に依頼してシートカットを行ってください。
【ロッカーアームの点検】 ● ロッカーアームのスリッパー部分の摩耗を点検します。 ● ロッカーシャフトの入る穴の内径を測定し。使用限度を越えていないかどうか確認します。	サービスデータを参考に問題があった場合は、交換してください。
【ロッカーアームシャフトの点検】 • 焼きつき、傷、異常磨耗がないか確認します。 • 外径を測定し、使用限度を越えていないかどうか確認します。	サービスデータを参考に問題があった場合は、交換してください。
【カムアイドルギヤの点検】 ベアリングをパーツクリーナーで洗浄して回転させ、ガタや引っ掛かりが無いか点検します。	サービスデータを参考に問題があった場合は、交換してください。

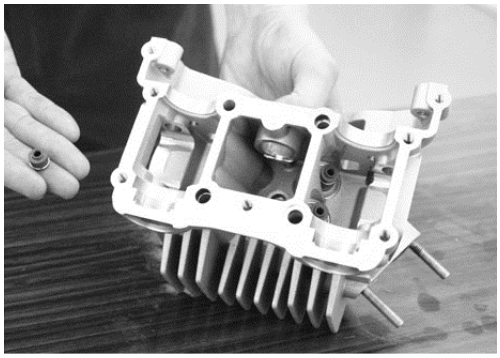
□ サービスデータ □ ※長さの単位は mm とします。

		標準値	使用限度
バルブクリアランス	IN	0.08±0.03	
	EX	0.1±0.03	
バルブガイド	内径（IN）	4.000～4.012	4.040
	内径（EX）	4.000～4.012	4.045
バルブ	ステム外径（IN）	3.975～3.99	3.965
	ステム外径（EX）	3.96～3.975	3.950
	ステムとガイドのすきま（IN）	0.010～0.037	0.075
	ステムとガイドのすきま（EX）	0.025～0.052	0.095
	バルブシートあたり幅	0.8～1.2	1.8
バルブタイミング（標準）	カムリフト中心角（IN）	89°（ATDC）	
	カムリフト中心角（EX）	91.5°（BTDC）	
バルブタイミング（高速型）	カムリフト中心角（IN）	101°（ATDC）	
	カムリフト中心角（EX）	103.5°（BTDC）	
バルブスプリング	バルブスプリング自由長	37.26	36.26
ロッカーアームシャフト	外径	9.972～9.987	9.962
ロッカーアーム	内径	10.0～10.015	10.025
シリンダーヘッド	ヘッド面の歪み	0.03	0.05
クランク	クランクシャフト振れ幅（測定位置：左シャフト根元より 60mm 右シャフト根元より 30mm	振れ幅 0.06 以下	振れ幅 0.1mm

〈シリンダーヘッド組み付け方法〉

〔バルブステムシール 4 個の組み付け〕

1. 1-9 ステムシールにエンジンオイルを塗布してから組み付けて下さい。
2. バルブガイド部分に 1-9 バルブステムシール 4 個を組み付けします。

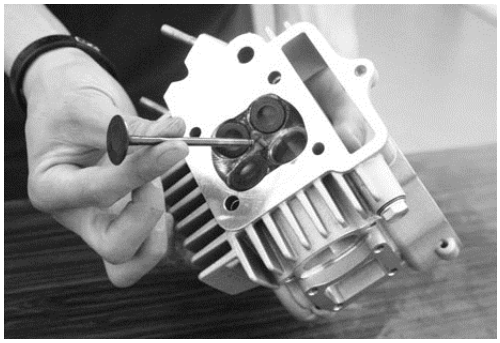


One Point!

オーバーホールの際には新品交換することをお奨めします。

〔ＩＮバルブとＥＸバルブ各２本の組み付け〕

3. 1-2 インテークバルブと 1-3 エキゾーストバルブのステム部分に薄くエンジンオイルを塗布してください。
4. バルブガイド部分に 1-2 インテークバルブと 1-3 エキゾーストバルブを挿入します。



〔バルブスプリング４本の組み付け〕

5. 1-1 シリンダーヘッド＆カバーセットに 1-11 バルブスプリング４本を組み付けます。

⚠注意

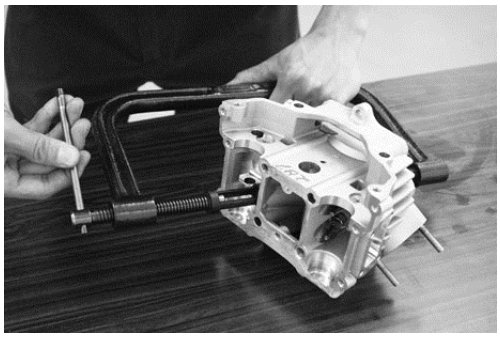
バルブスプリングの上下方向に注意してください。ピッチが狭いほうが、下側（ヘッド側）になります。

上：ピッチが広い。

下：ピッチが狭い。

〔バルブリテーナー4 個の組み付け〕

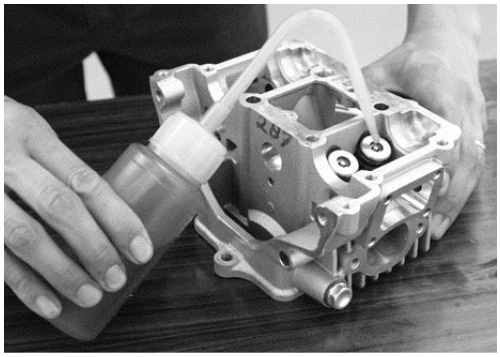
6. 1-11 バルブスプリングの上に 1-13 リテーナー4 個をのせます。
7. 1-13 リテーナーの上に 1-12 バルブコッタを２個づつ挿入します。
8. バルブスプリングコンプレッサーを使用し組み付けします。



One Point!

バルブコッタの上部の凹みにエンジンオイルを塗布してください。

9. 1-12 バルブリテーナーの上部の凹みに元々の装着位置に 1-14 タペットシムを載せます。



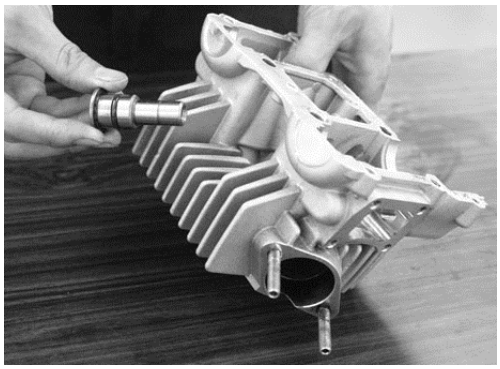
〔シャフト、カムギアーアイドルの組付け〕

10. 1-22Oリングにグリスを塗布してください。

One Point!

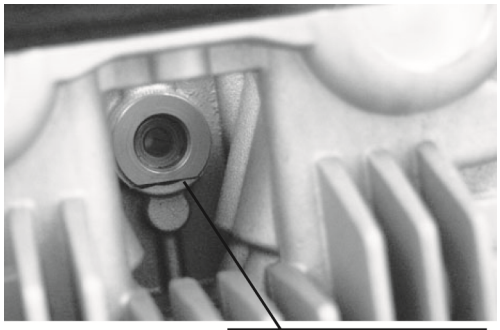
Oリングに傷や損傷がある場合は新品に交換してください。

11. 1-21 カムギアーアイドルシャフトをシリンダーヘッドに差し込みます。



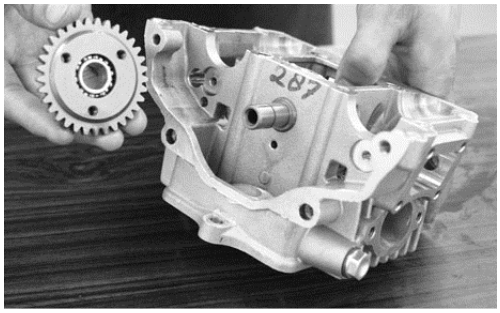
⚠注意

アイドルシャフトの切り欠きがずれないように組付けてください。



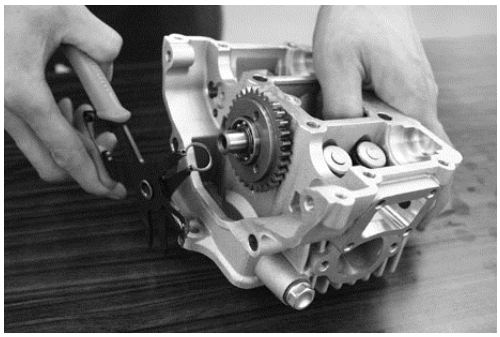
〔カムアイドルギヤの組付け〕

12. 1-9カムアイドルギヤを1-19ベアリング側を表になるように 1-21 カムギアーアイドルシャフトに差込みます。



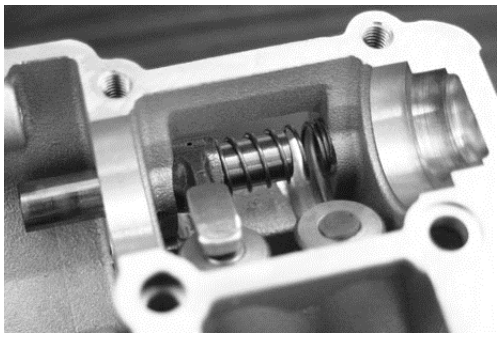
〔サークリップの組付け〕

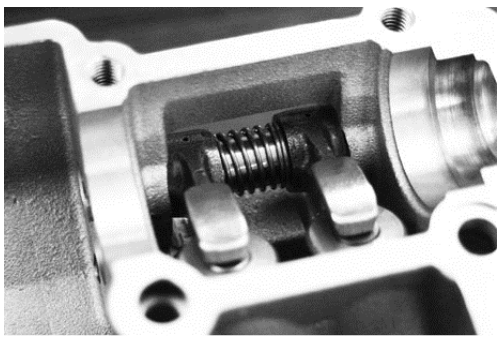
13. 1-7 サークリップＳＴＷ－１２で固定します。



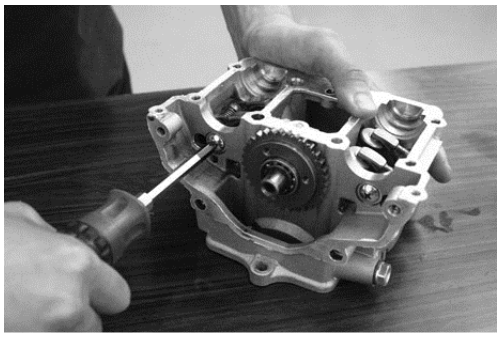
〔ロッカーアームの組付け〕

14. 左側の 1-16 ロッカーアームと 1-15 ロッカーアームサイドスプリングを組み付け 1-4 ロッカーアームシャフトを通します。ロッカーアームシャフトの内径部分に雌ネジが切ってある側をカムチェーン側に向けて差し込んでください。
15. 右側の 1-16 ロッカ-アームを組み付けてください。



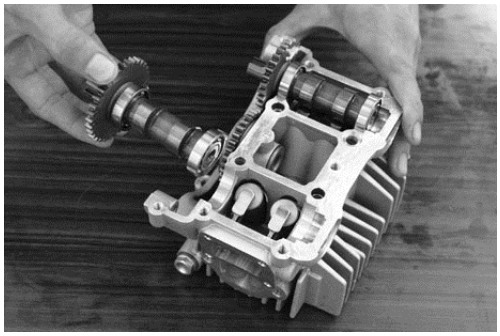


16. IN/EX の 1-6 十字穴付きトラス子ねじ 2 本（M5X10）と 1-5 平ワッシャー大（M5）を取付けします。



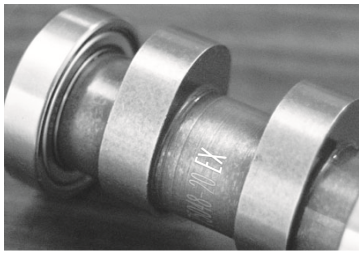
〔カムシャフトのセット〕

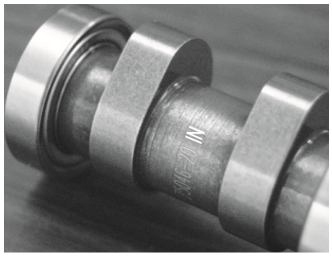
17. シリンダーヘッドに 1-23 インテークカムシャフトと 1-17 エキゾーストカムシャフトをセットします。



⚠注意

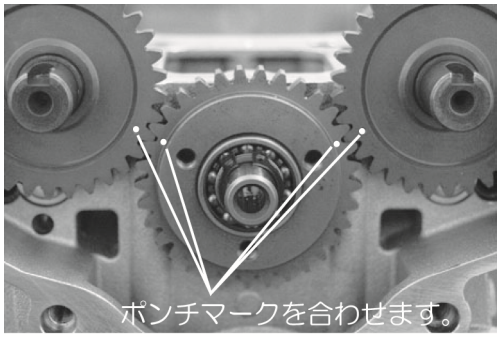
IN と EX を間違え無いようにカムシャフトの刻印を確認してください。





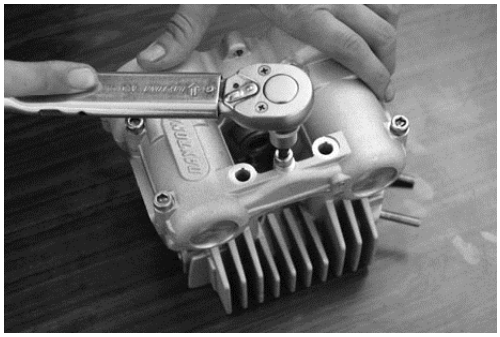
〔バルブタイミング合わせ〕

18. バルブタイミングを合わせます。1-18 カムギアと 1-9 カムアイドルギヤの位置決めを確実に行なって下さい。



〔タペット調整〕

19. ヘッドカバーを仮組みし、1-28 六角穴付きボルトM６X３０を１本と 1-27 六角穴付きボルトM６X25 を４本で（締め付けトルク 11N・m）組み付けます。
20. シックネスゲージを使用し、タペット調整を行います。

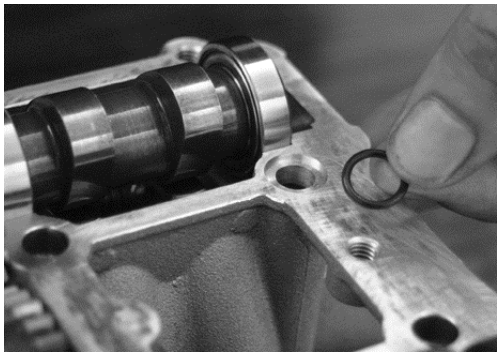


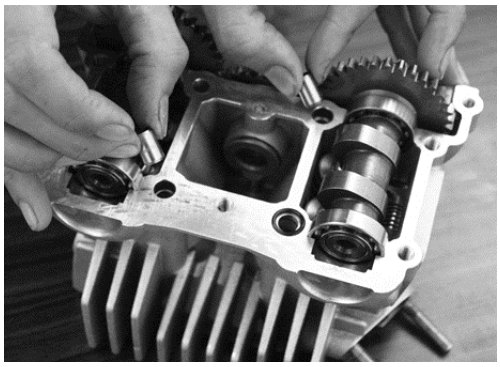
基準値は IN：0.08±0.03、EX：0.10±0.03 です。タペットクリアランスがきつい場合はタペットシムを薄いものに、逆にゆるい場合はタペットシムを厚いものに変更します。

21. 調整が終了したら、ヘッドカバーを外してください。

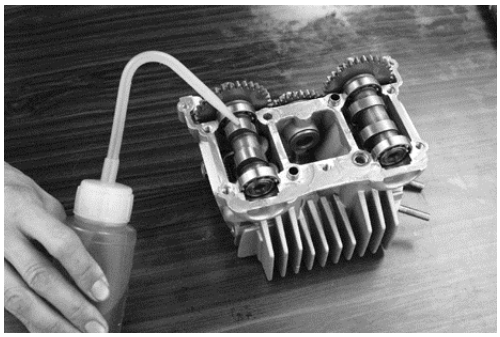
〔ヘッドとカバーの組み付け〕

22. ヘッドとカバーの合わせ面を脱脂します。
23. ヘッド側に 1-25 ラバーガスケットと 1-24 ダウエルピン（Φ8×12）を組み付けます。



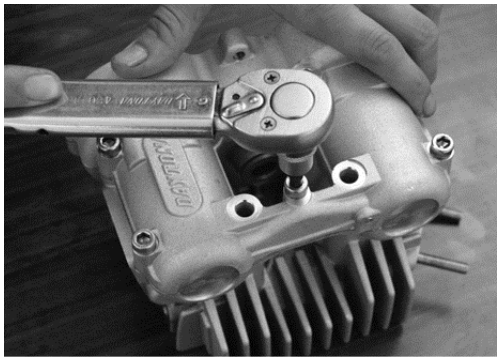


24. カムシャフト、ギア、ベアリングにエンジンオイルを塗布します。
25. 液状ガスケット【品番 40621 高耐熱シリコンガスケット ￥1,500（税抜）】を合わせ面に塗布します。
26. シリンダーヘッドカバーを1-27六角穴付きボルトM6×25（４本）、1-28 六角穴付きボルトM６X３０（１本）、1-26 六角穴付きボルトM５×25 で組み付け、規定トルクで締めます。



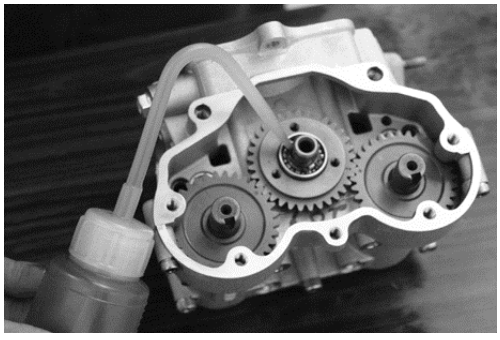
M６ボルト締め付けトルク：5N・mで仮締め
⇒11N・m本締め

M5 ボルト締め付けトルク：5N・m



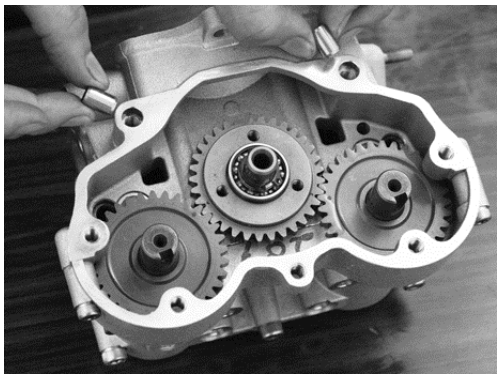
〔シリンダーヘッドサイドカバーの組み付け〕

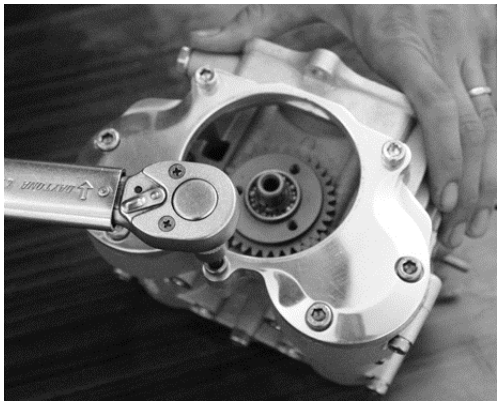
27. ギヤやベアリング類にエンジンオイルを塗布します。
28. シリンダーヘッドとサイドカバーの合わせ面を脱脂します。
29. 1-24 ダウエルピン（Φ8×12mm）を挿入します。
30. 合わせ面に液状ガスケット【品番 40621 高耐熱シリコンガスケット　￥1,500（税抜）】を塗布します。
31. 1-34 六角穴付きボルトM６X１５（４本）、1-27M６X２５（２本）、1-33M６X２０（１本）で 1-32 シリンダーヘッドサイドカバーを固定し、規定トルクで締めてください。



M６ボルト締め付けトルク：11N・m

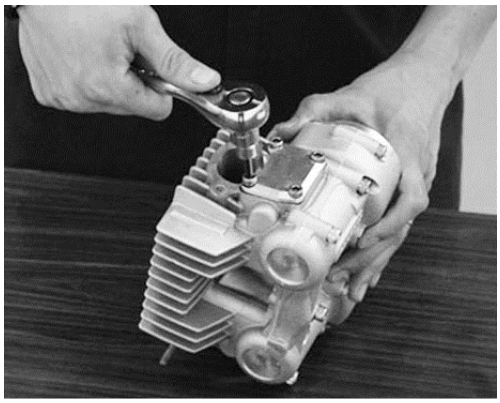
32. はみ出た、液状ガスケットや汚れを拭き取ります。





〔タペットアジャストホールカバーの装着〕

33. 1-29 六角穴付きボルトM5X１０（4 本づつ）でヘッドのＩＮ／ＥＸ側に組み付けます。



M5 ボルト締め付けトルク：5N・m

東証JASDAQ上場
株式会社 デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで